marantz®

Network Audio Player

NA6005

取扱説明書

目次

使用上のご注意 6
- 携帯電話使用時のご注意 6
- お手入れについて 6
- 結露(つゆつき)について 6

付属品 7

リモコンについて 8
- 乾電池の入れかた 8
- リモコンの使いかた 9
- Marantz “Hi-Fi Remote” App について 9

本機の特長 10
- 高音質 10
- 多彩な機能 11

各部の名前 12
- フロントパネル 12
- リアパネル 14
- リモコン 16

接続のしかた

アンプを接続する 21

デジタル音声入力端子付きの機器を接続する 22

デジタル音声出力端子付きの機器を接続する 23

USB 端子に iPod または USB メモリーを接続する 24

FM/AM アンテナを接続する 26

ホームネットワーク(LAN)に接続する 28
- 有線 LAN 28
- 無線 LAN 29

FLASHER IN 端子付きの機器を接続する 31

リモートコントロール端子付きの機器を接続する 32
- 接続 32
- 設定 32

電源コードを接続する 33

再生のしかた

基本操作 35
- 電源を入れる 35
- 入力ソースを選ぶ 36
- ディスプレイの明るさを切り替える 37
- デジタル音声出力を停止する 37
- スリープタイマーを設定する 37

インターネットラジオを聴く 38
- インターネットラジオを聴く 39
- vTuner でインターネットラジオ局をお気に入り登録する 41

パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する 42
- メディアの共有設定をおこなう 43
- パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する 44
- くり返し再生する (リピート再生) 45
- 順不同に再生する (ランダム再生) 46

FM/AM 放送を聴く 47
- FM/AM 放送を聴く 47
- 受信モードを変更する(チューニングモード) 48
- FM 放送局を自動的にプリセットする(オートプリセット) 48

お気に入り機能 49
- 放送局またはファイルをお気に入りリストに登録する 50
- お気に入りリストに登録した放送局またはファイルを呼び出す 50
- お気に入りリストに登録した放送局やファイルを再生中、登録した放送局またはファイルを切り替える 50
- お気に入りリストから放送局またはファイルを削除する 50

iPod を再生する 51
iPod の音楽を聴く 52
オペレーションモードの設定(Remote iPod モード) 53
iPod/iPhone の充電 54
USB メモリーを再生する 55
USB メモリーに保存されているファイルを再生する 56
Bluetooth 機器の音楽を聴く 57
Bluetooth 機器とペアリングする 58
Bluetooth 機器の音楽を再生する 59
ペアリングモードでペアリングする 60
AirPlay 機能 61
iPhone、iPod touch、iPad の曲を本機で再生する 61
iTunes の音楽を本機で再生する 62
複数のスピーカー(機器)を選ぶ 62
Remote play 機能 63
それぞれの機器に必要な設定 64
ウェブコントロール機能 66
ウェブコントロール機能で本機をコントロールする 66
D/A コンバーター機能で再生する 72
デジタル機器と接続して再生する (Optical) 72

設定のしかた

メニュー 一覧 73
メニューの操作のしかた 75
文字入力について 76
一般 78
オーディオ出力 78
音量の上限 78
言語 79
オートスタンバイ 79
使用状況の送信設定 80
ファームウェア 80
ネットワーク 83
ネットワーク情報 83
ネットワーク制御 83
フレンドリ名 84
接続の設定 84
音量調節ボタンのリモコンコードを設定する 91
リモコンコードを“可変出力”に設定する 91
リモコンコードを“アンプ”に設定する 91

困ったときは

目次 92
こんなときの解決方法 93
故障かな？と思ったら 94
お買い上げ時の設定に戻す 104
保証と修理について 105

付録

USB メモリーの再生について 107
D/A コンバーターについて 108
インターネットラジオ局の再生について 109
パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する 110
Bluethooth 機器の再生について 111
Bluetooth 通信について 111
ラストファンクションメモリー 111
用語の解説 112
登録商標について 117
主な仕様 118
索引 122

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

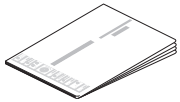
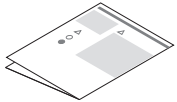
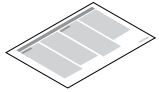
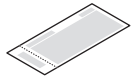
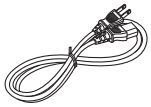
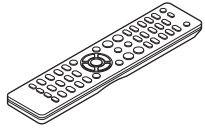
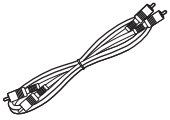
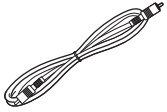
結露（つゆつき）について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部）に水滴が付くことがあります（結露）。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1～2 時間放置してから使用してください。

お買い上げいただきありがとうございます。
本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

付属品

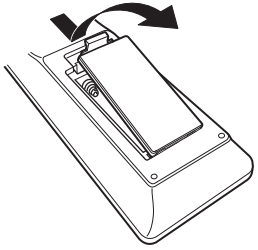
ご使用の前にご確認ください。

かんたんスタートガイド	 取扱説明書(本書)	 安全にお使いいただくために	 電波に関するご注意	 保証書
 電源コード【本機専用】	FM 室内アンテナ	AM ループアンテナ	 リモコン(RC004NA)	単 4 形乾電池(2 本)
 音声ケーブル	 リモートコントロール接続ケーブル	Bluetooth/ 無線 LAN 用外部アンテナ (2 本)		

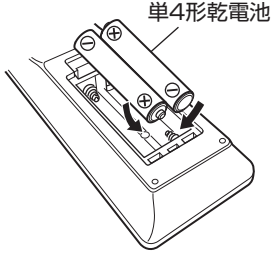
リモコンについて

乾電池の入れかた

① 裏ぶたを矢印の方向に引き上げて取り外す。



② 乾電池(2 本)を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



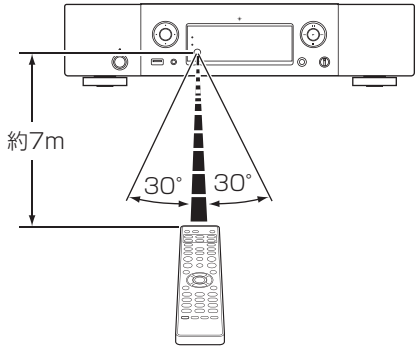
③ 裏ぶたを元どおりにする。

ご注意

- 破損･液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けてご使用ください。



Marantz “Hi-Fi Remote” App について

Marantz “Hi-Fi Remote” App（マランツ･ハイファイ･リモート･アプリ）は iPad、iPhone、iPod touch および Android スマートフォン用に開発された独自のアプリケーションです。

ご家庭のマランツ製ネットワーク機器のコントロールをおこないます。

このアプリをインストールするとお手持ちの iPad、iPhone、iPod touch および Android スマートフォンから本機の操作がおこなえます。

- 双方向通信をおこないます。
- Marantz “Hi-Fi Remote” App は Apple App Store、Google Play Store から無料でインストールできます。

本機の特長

高音質

- **マランツオリジナル HDAM®SA2 回路を採用**
  上位モデルのスーパーオーディオ CD プレーヤーやアンプで実績のある HDAM®SA2 回路を高速バッファーアンプとして搭載しました。
  クラスを超えたハイスピードで高品位な再生をお楽しみいただけます。

- **シーラスロジック社製高性能 D/A コンバーター CS4398 を搭載**
  音質の重要な要素を占める D/A コンバーターには、当社のスーパーオーディオ CD プレーヤーに採用し、定評のある高精度なシーラスロジック社製 CS4398 を使用しています。

- **ジッターリデューサー回路を搭載**
  より高品位な再生を実現するために、ジッターリデューサー回路を搭載しました。S/N に優れた、より生の音に近い再生をお楽しみいただけます。

- **ダブル･レイヤード･シャーシ**

- **高品位なヘッドホンアンプ回路を搭載**
  高速電流バッファーアンプを搭載した、高品位なヘッドホンアンプ回路を搭載していますので、深夜にヘッドホンで音楽を聴くときなどに高音質でお楽しみいただけます。

多彩な機能

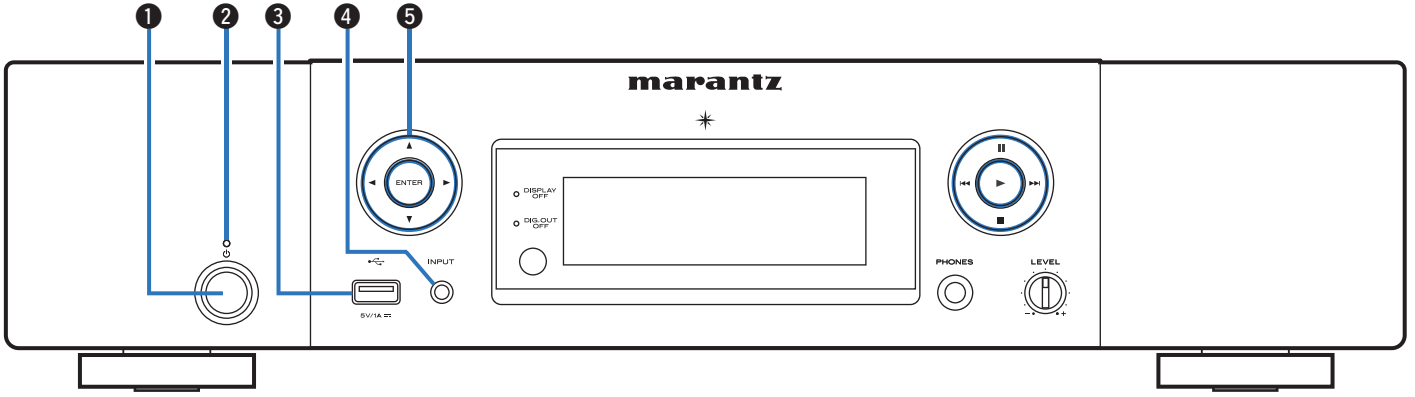
- **USB とネットワーク経由による DSD と FLAC ファイルの再生**
  高解像度のオーディオフォーマットである DSD や FLAC 192kHz ファイルの再生に対応しています。高解像度ファイルの高音質再生を実現しています。
- **High Quality Audio 再生に対応**
  WAV/FLAC/ALAC (Apple Lossless Audio Codec)/AIFF/DSD
- **インターネットラジオなどのネットワーク機能に加え、AirPlay®機能を搭載(☞61 ページ)**
- **USB メモリー(MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/AIFF/DSD)や iPod®/iPhone®の再生に対応**
- **Wi-Fi 接続でオーディオファイルを再生したときの通信安定性を向上させる WMM(Wi-Fi Multi Media)をサポート**
- **簡単に Wi-Fi 接続を実現する、Wi-Fi 接続ボタンを搭載(WPS/Wi-Fi 共有機能)**
  別冊の「かんたんスタートガイド」をご覧ください。
- **Bluetooth 機器と簡単にワイヤレス接続が可能**
  お手持ちのスマートフォン、タブレット、パソコンなどとワイヤレス接続することで、簡単に音楽を楽しめます。
- **DLNA(Digital Living Network Alliance) ver. 1.5 に準拠したネットワーク機能搭載**
- **Gapless 再生に対応**
  音楽ファイル間を途切れることなく再生できます。(WAV/FLAC/ALAC/AIFF/DSD のみ)
- **iPod®を接続することで自動的に充電開始、充電完了後、本機の状態に合わせて消費電力を最適化するスマート充電コントロール(☞24 ページ)**
- **iPad®、iPhone®または Android スマートフォンで本機の基本的な操作がおこなえる Marantz “Hi-Fi Remote” App(マランツ・ハイファイ・リモート・アプリ)に対応**
- **3行表示可能な有機 EL ディスプレイ搭載**
- **電力消費をおさえるオートスタンバイモードを搭載**

ステレオ音のエチケット

- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

各部の名前

フロントパネル



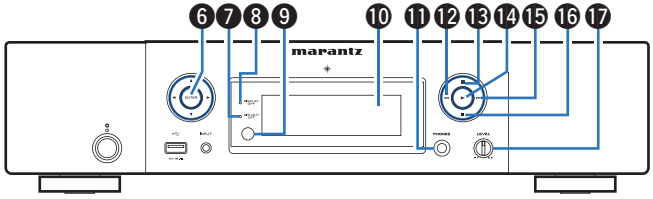
❶ 電源ボタン(⏻)
本機の電源をオン/オフ(スタンバイ)します。
(☞35 ページ)

❷ スタンバイ表示
本機の状態により次のように変わります。
- 電源オン時:消灯
- 電源スタンバイ時:赤色
- “ネットワーク制御”の設定が“オン”のとき:オレンジ色
- iPod が充電スタンバイのとき:オレンジ色

❸ USB 端子
iPod または USB メモリーを接続します。(☞24 ページ)

❹ 入力ソース選択ボタン(INPUT)
入力ソースを選択します。(☞36 ページ)

❺ カーソルボタン(△▽◁▷)
項目を選択します。



❻ エンターボタン(ENTER)
選択した内容を確定します。

❼ デジタル音声出力オフ表示(DIG. OUT OFF)
デジタル出力回路がオフのときに点灯します。
(☞37 ページ)

❽ DISPLAY OFF 表示
ディスプレイが消灯しているときに点灯します。
(☞37 ページ)

❾ リモコン受光部
リモコンからの信号を受信します。

❿ ディスプレイ
再生状態や設定などを表示します。

⓫ ヘッドホン端子(PHONES)
ヘッドホンを接続します。

ご注意

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

⓬ スキップ/早戻しボタン(I◀◀)
再生中の曲の先頭にスキップします。長押しすると、早戻ししします。(☞44 ページ)

⓭ 一時停止ボタン(❚❚)
再生を一時停止します。(☞44 ページ)

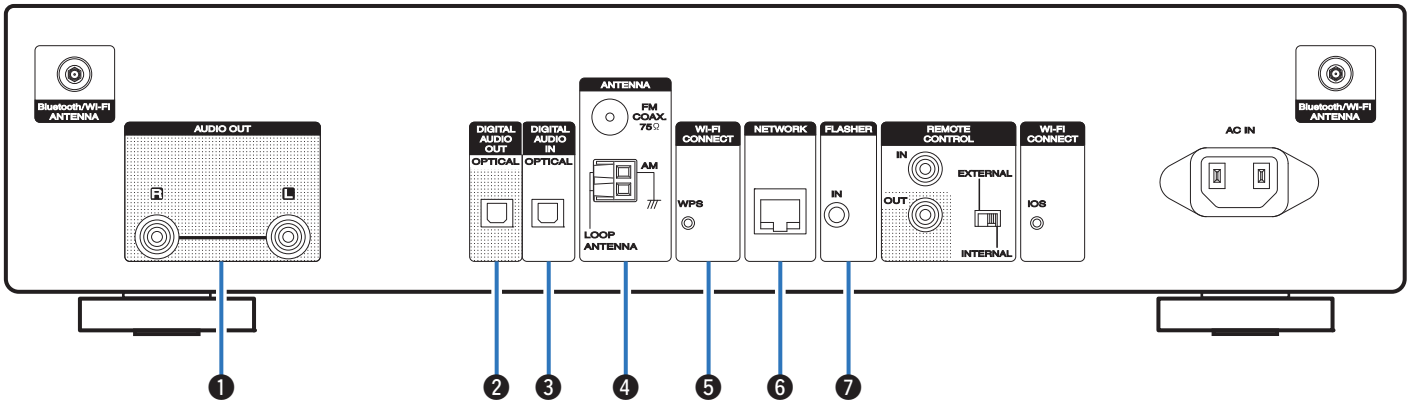
⓮ 再生ボタン(▶)
再生をはじめます。(☞44 ページ)

⓯ スキップ/早送りボタン(▶▶I)
次の曲の先頭にスキップします。長押しすると、早送りします。
(☞44 ページ)

⓰ 停止ボタン(■)
再生を停止します。(☞44 ページ)

⓱ ヘッドホン音量調節つまみ(LEVEL)
ヘッドホンの音量を調節します。

リアパネル



❶ **音声出力端子(AUDIO OUT)**
アナログ音声入力端子付きの機器や外部のアンプを接続します。(☞21 ページ)

❷ **デジタル音声出力端子(DIGITAL AUDIO OUT)**
デジタル音声入力端子付きの AV レシーバーや D/A コンバーターを接続します。(☞22 ページ)

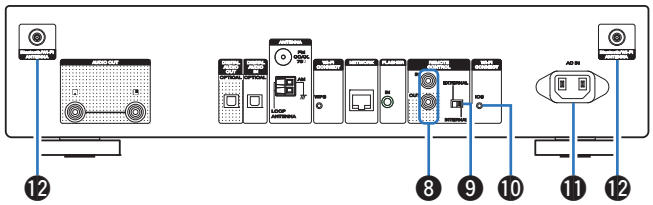
❸ **デジタル音声入力端子(DIGITAL AUDIO IN)**
デジタル音声出力端子付きの機器やパソコンを接続します。(☞23 ページ)

❹ **アンテナ端子(ANTENNA)**
FM アンテナおよび AM ループアンテナを接続します。(☞26 ページ)

❺ **Wi-Fi 接続ボタン(Wi-Fi CONNECT WPS)**
無線 LAN 接続に使用します。
(別冊の「かんたんスタートガイド」をご覧ください。)

❻ **ネットワーク端子(NETWORK)**
ネットワークに接続する際に LAN ケーブルを接続します。(☞28 ページ)

❼ **フラッシャーイン端子(FLASHER IN)**
コントロールボックスなどを接続します。「FLASHER IN 端子付きの機器を接続する」(☞31 ページ)



❽ リモートコントロール入出力端子 (REMOTE CONTROL IN/OUT)
リモートコントロール機能付きのマランツ製アンプを接続します。(☞32 ページ)

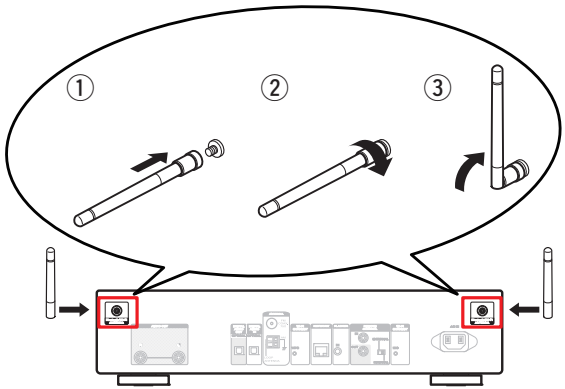
❾ EXTERNAL/INTERNAL スイッチ
アンプとリモートコントロール接続し、スイッチを“EXTERNAL”に切り替えると、アンプがリモコン信号を受信して、本機はアンプからのリモコン信号を受けて動作します。(☞32 ページ)

❿ Wi-Fi 接続ボタン(Wi-Fi CONNECT iOS)
iOS 接続に使用します。
(別冊の「かんたんスタートガイド」をご覧ください。)

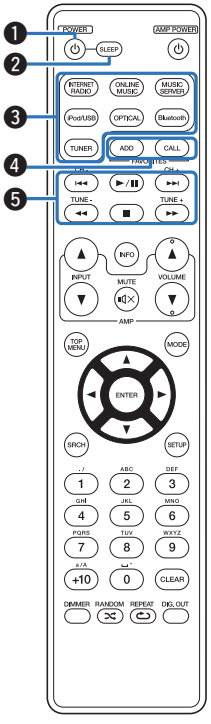
⓫ AC インレット(AC IN)
電源コードを接続します。(☞33 ページ)

⓬ Bluetooth/無線 LAN 用アンテナ端子
Bluetooth でお手持ちの機器と接続する場合、または無線 LAN でネットワークに接続する場合は、この端子に、付属の Bluetooth/無線 LAN 用外部アンテナを接続してご使用ください。(☞29 ページ)

① Bluetooth/無線 LAN 用外部アンテナをリアパネルのアンテナ端子と水平に合わせる。
② アンテナを右に回してしっかり締める。
③ 最も受信状態が良い向きにアンテナを回転させる。



リモコン



■ 本機の操作

❶ 電源操作ボタン(POWER ⏻)

電源をオン/オフ(スタンバイ)します。(☞35 ページ)

❷ スリープボタン(SLEEP)

スリープタイマーを設定します。(☞37 ページ)

❸ 入力ソース選択ボタン

入力ソースを選択します。(☞36 ページ)

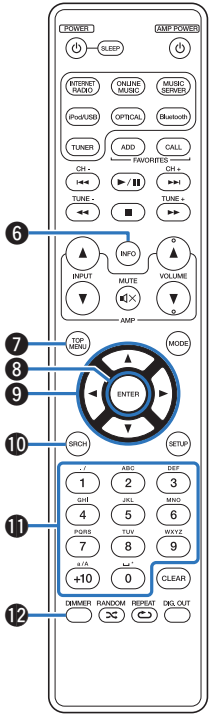
❹ お気に入り登録/呼び出しボタン (FAVORITES ADD / CALL)

- お気に入りリストに放送局やファイルを追加するときに ADD ボタンを押してください。
- お気に入りリストに登録された放送局やファイルを呼び出すときに CALL ボタンを押してください。(☞50 ページ)

❺ システムボタン

再生に関する操作をします。

- スキップボタン(I◀◀、▶▶I)
- プレイ/ポーズボタン(▶/❚❚)
- 早送り/早戻しボタン(◀◀、▶▶)
- ストップボタン(■)
- チャンネルボタン(CH +、-)
  お気に入り機能を操作します。
- 選局ボタン(TUNE +、-)
  チューナーを操作します。



❻ インフォメーションボタン(INFO)
アルバム名やタイトル名などを表示します。(☞42 ページ)

❼ トップメニューボタン(TOP MENU)
トップメニューに移動します。

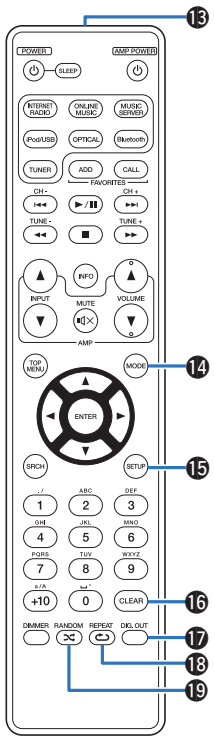
❽ エンターボタン(ENTER)
選択した内容を確定します。(☞38 ページ)

❾ カーソルボタン(△▽◁▷)
項目を選択します。(☞38 ページ)

❿ サーチボタン(SRCH)
サーチメニューを表示します。(☞38 ページ)

⓫ 数字ボタン(0〜9、+10)
文字や数字の入力をします。(☞49 ページ)

⓬ ディマーボタン(DIMMER)
本機のディスプレイの明るさを調節します。(☞37 ページ)



⓭ リモコン信号送信窓
リモコンの信号を送信します。(☞9 ページ)

⓮ モードボタン(MODE)
iPod 操作モードを切り替えます。(☞51 ページ)
チューニングモードを切り替えます。(☞48 ページ)

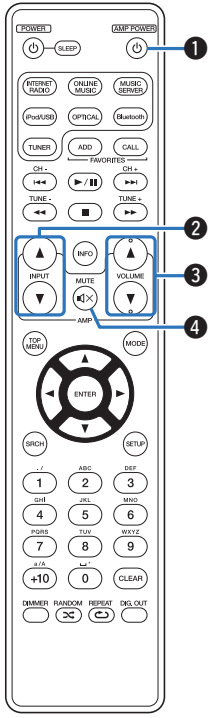
⓯ セットアップボタン(SETUP)
ディスプレイに設定メニューを表示します。(☞38 ページ)

⓰ クリアボタン(CLEAR)
設定を取り消します。(☞49 ページ)

⓱ デジタル音声出力切り替えボタン(DIG. OUT)
デジタル音声出力のオン/オフを切り替えます。
(☞37 ページ)

⓲ リピートボタン(REPEAT ↻)
リピート再生をします。(☞42 ページ)

⓳ ランダムボタン(RANDOM ⤮)
ランダム再生をします。(☞42 ページ)



■ アンプの操作

❶ アンプ用電源ボタン(AMP POWER ⏻)

本機と接続しているアンプの電源をオン/オフします。

❷ アンプ用入力ソース選択ボタン(INPUT ▲▼)

本機と接続しているアンプの入力ソースを切り替えます。
(☞36 ページ)

❸ 音量調節ボタン(VOLUME ▲▼)

本機と接続しているアンプの音量を調節します。

❹ 消音ボタン(MUTE 🔇)

本機と接続しているアンプを消音します。

接続のしかた

■ 目次

アンプを接続する	21
デジタル音声入力端子付きの機器を接続する	22
デジタル音声出力端子付きの機器を接続する	23
USB 端子に iPod または USB メモリーを接続する	24
FM/AM アンテナを接続する	26
ホームネットワーク(LAN)に接続する	28
FLASHER IN 端子付きの機器を接続する	31
リモートコントロール端子付きの機器を接続する	32
電源コードを接続する	33

ご注意

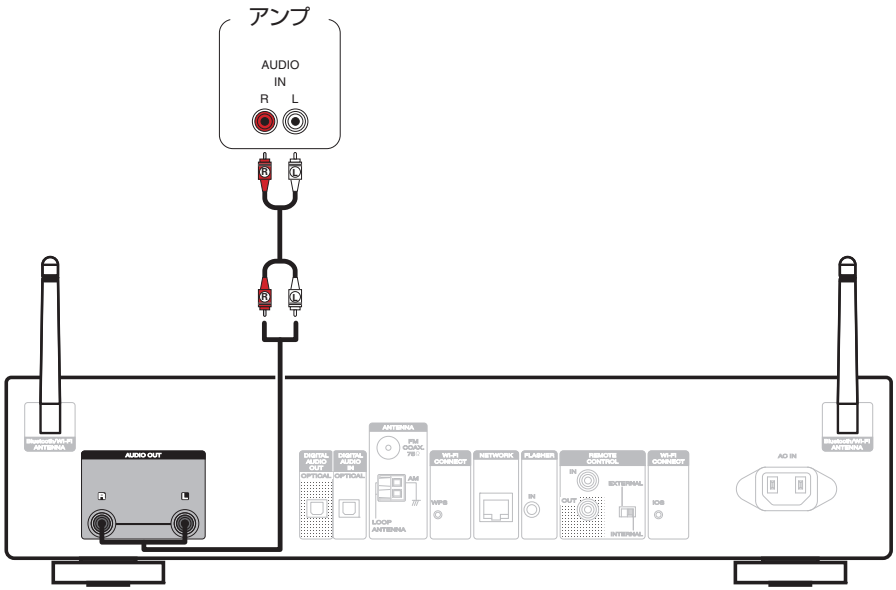
- すべての接続が終わるまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。雑音の原因になります。

■ 接続に使用するケーブル

ご使用になる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

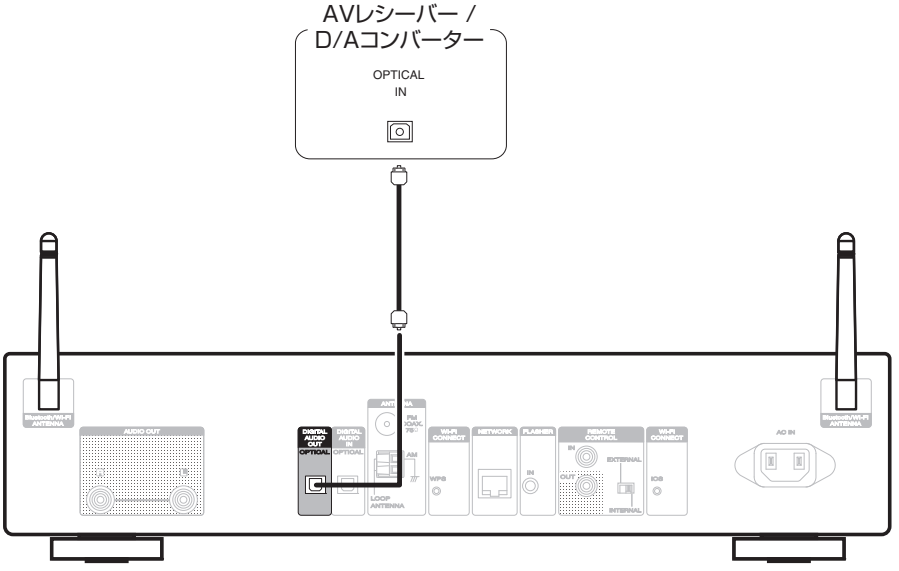
オーディオケーブル(付属)	
リモートコントロール接続ケーブル(付属)	
光伝送ケーブル(別売り)	
LAN ケーブル(別売り)	
モノラルミニプラグケーブル(別売り)	

アンプを接続する


アンプ
AUDIO
IN
R
L
AUDIO OUT
R
L
ANTENNA
FM COAX. 75Ω
AM
LOOP ANTENNA
DIGITAL AUDIO OUT OPTICAL
DIGITAL AUDIO IN OPTICAL
Wi-Fi CONNECT
WPS
NETWORK
FLASHER
IN
REMOTE CONTROL
IN
OUT
EXTERNAL
INTERNAL
IOS
Wi-Fi CONNECT
AC IN

デジタル音声入力端子付きの機器を接続する

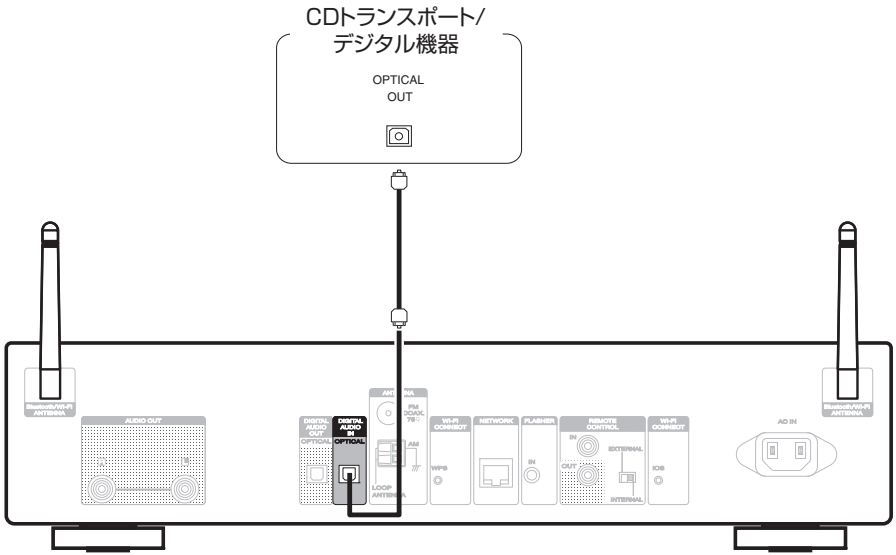
本機からデジタル音声信号を出力し、接続した機器の D/A コンバーターで D/A 変換をおこなって再生する接続です。



リモコンの DIG. OUT ボタンでデジタル音声出力のオン/オフを設定できます。(☞37 ページ)
サンプリング周波数が 32kHz の信号と DSD 信号は、本機のデジタルオーディオ出力端子から出力しません。

デジタル音声出力端子付きの機器を接続する

本機にデジタル音声信号を入力し、本機の D/A コンバーターで D/A 変換をおこなって再生する接続です。(☞72 ページ)



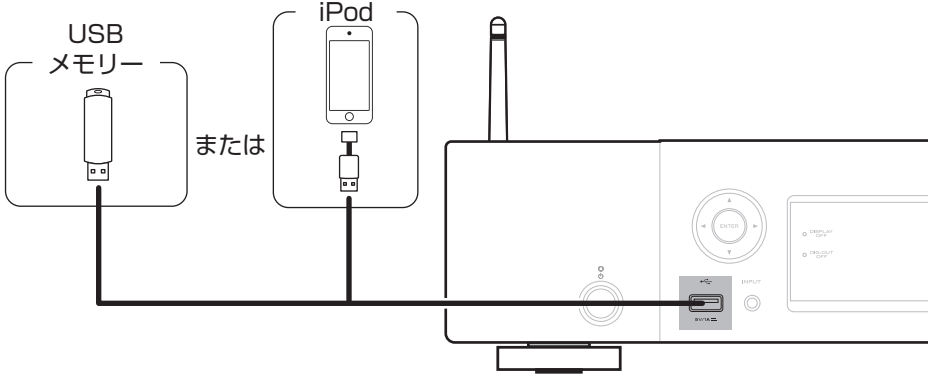
ご注意

- 本機に入力できるのは、サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、48kHz、64kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz のリニア PCM 信号です。
- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 信号以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

USB 端子に iPod または USB メモリーを接続する

iPod/iPhone や USB メモリー内の音楽を楽しむことができます。

- 本機と iPod/iPhone を接続するときは、iPod/iPhone に付属の USB ケーブルを使用してください。
- 操作のしかたは、「iPod を再生する」(☞51 ページ)または「USB メモリーを再生する」(☞55 ページ)をご覧ください。



すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものを使用する場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。

ご注意

- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- USB メモリーを接続するときに、延長ケーブルを使用しないでください。他の機器に電波障害を引き起こす場合があります。
- 本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。

■ 対応している iPod/iPhone

- iPod classic

iPod classic
80GB

iPod classic
160GB (2007)

iPod classic
160GB (2009)

- iPod nano

iPod nano
3rd generation
(video)
4GB 8GB

iPod nano
4th generation (video)
8GB 16GB

iPod nano
5th generation (video camera)
8GB 16GB

iPod nano
6th generation
8GB 16GB

iPod nano
7th generation
16GB

- iPod touch

iPod touch
2nd generation
8GB 16GB 32GB

iPod touch
3rd generation
32GB 64GB

iPod touch
4th generation
8GB 16GB 32GB 64GB

iPod touch
5th generation
16GB 32GB 64GB

- iPhone

iPhone 3G
8GB 16GB

iPhone 3GS
8GB 16GB 32GB

iPhone 4
8GB 16GB 32GB

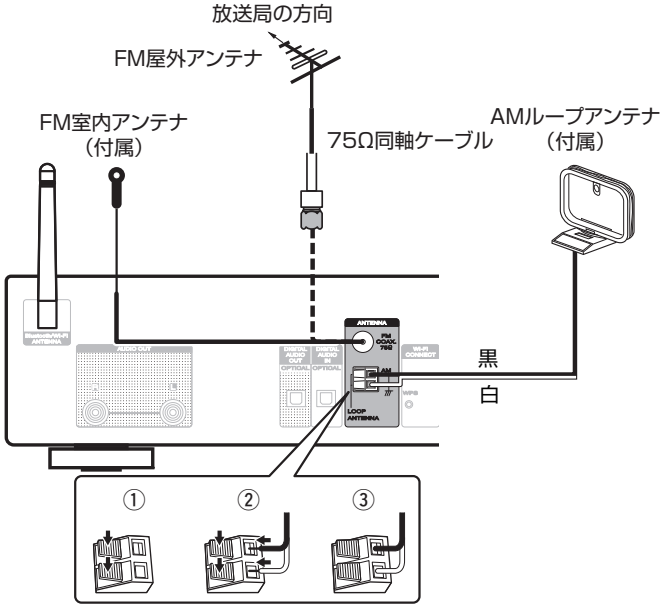
iPhone 4S
16GB 32GB 64GB

iPhone 5
iPhone 5c iPhone 5s
16GB 32GB 64GB

FM/AMアンテナを接続する

アンテナを接続したあとに放送を受信し、雑音の少ない位置にテープなどで固定してください。「FM/AM 放送を聴く」(☞47 ページ)

- FM/AM 放送を聴く場合は、必ずアナログ接続をしてください。「アンプを接続する」(☞21 ページ)



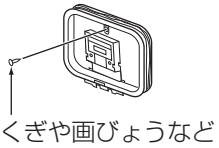
ご注意

- 2 つの FM アンテナを同時に接続しないでください。
- 放送を良好に受信できない場合は、屋外アンテナの設置をおすすめします。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- AM 屋外アンテナを接続した場合も、AM ループアンテナを外さないでください。
- AM ループアンテナ線がリアパネルやねじに接触していないか確認してください。

■ AM ループアンテナの使いかた

壁に掛けて使う

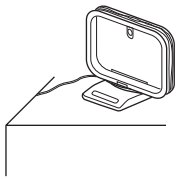
組み立てずにそのままお使いください。



置いて使う

図のように組み立ててお使いください。

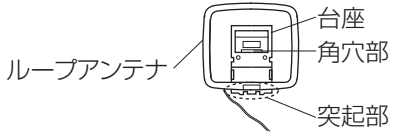
組み立てかたは、「AM ループアンテナの組み立てかた」をご覧ください。

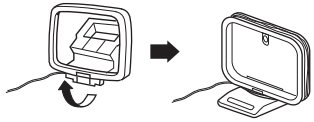


■ AM ループアンテナの組み立てかた

1 **台座部をループアンテナの後ろから、ループアンテナの下を通して、手前に曲げる。**

2 **突起部を台座の角穴部に、差し込む。**





ホームネットワーク(LAN)に接続する

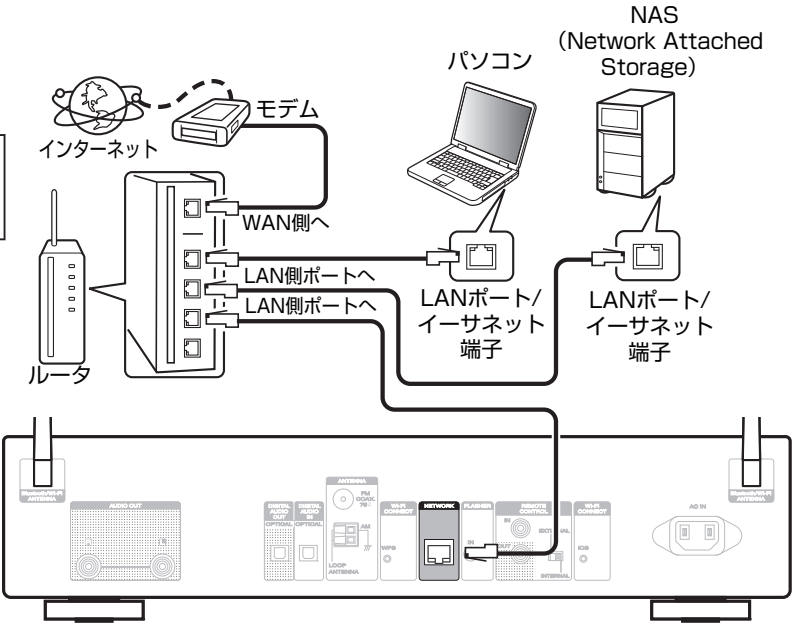
本機は有線 LAN または無線 LAN を使用して、ネットワークに接続できます。
本機はホームネットワーク(LAN)に接続して、次のさまざまな再生や操作をおこなうことができます。

- インターネットラジオやミュージックサーバーなどのネットワークオーディオの再生
- AirPlay 再生
- ネットワークを経由した本機の操作
- ファームウェアのアップデート

インターネットの接続については、ISP(インターネット・サービスプロバイダ)またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。

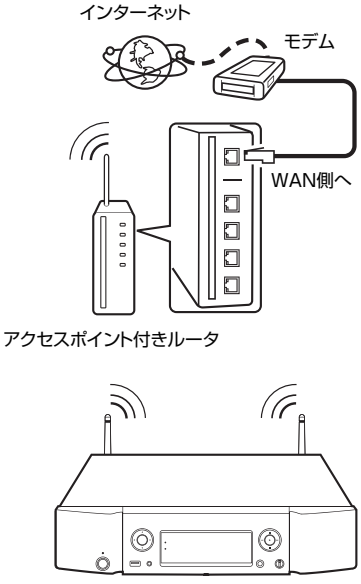
有線LAN

有線 LAN で接続する場合は、図のようにルータと本機を LAN ケーブルで接続してください。



無線 LAN

無線 LAN でネットワークに接続する場合は、Bluetooth/無線 LAN 用外部アンテナをリアパネルに接続し、アンテナを立ててご使用ください。
無線 LAN ルータとの接続方法は、「接続の設定」(☞84 ページ)をご覧ください。



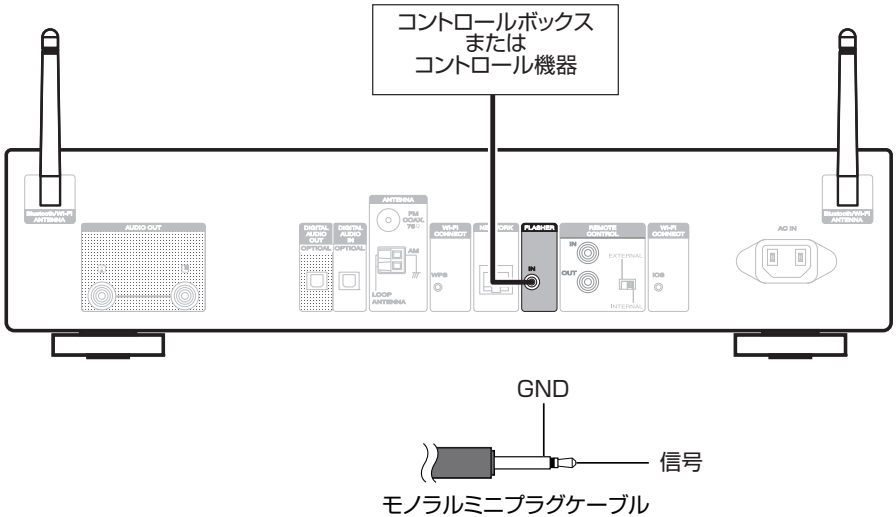
- 本機は DHCP 機能や Auto IP 機能を使用して、自動的にネットワークの設定ができます。
- ブロードバンドルータ(DHCP 機能)をご使用の場合は、本機が自動的に IP アドレスなどの設定をおこないます。DHCP 機能のないネットワークに本機を接続してご使用になる場合は、設定メニューの“ネットワーク”で IP アドレスなどの設定をおこなってください。(☞83 ページ)
- 本機を使用するにあたって、次の機能が装備されているルータをおすすめします。
  - DHCP サーバー内蔵
    LAN 上の IP アドレスを自動的に割り振る機能です。
  - 100BASE-TX スイッチ内蔵
    複数の機器を接続するために、100Mbps 以上の速度で、スイッチングハブを内蔵していることをおすすめします。
- STP タイプまたは ScTP タイプのシールド LAN ケーブルを使用してください。(CAT-5 以上を推奨)
- LAN ケーブルは、シールド付きのノーマルタイプをおすすめします。フラットタイプのケーブルやシールドされていないケーブルを使用すると、ノイズが他の機器に影響を及ぼす可能性があります。
- WPS (Wi-Fi Protected Setup)機能に対応したルータを使用すると、本機の Wi-Fi CONNECT WPS ボタンを使用して簡単に Wi-Fi 接続することができます。(別冊の「かんたんスタートガイド」をご覧ください。)

ご注意

- ISP 業者によって使用できるルータの種類が異なります。詳しくは、ISP 業者またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。
- 本機は PPPoE に対応していません。PPPoE で設定するタイプの回線契約を結んでいる場合は、PPPoE 対応のルータが必要です。
- NETWORK 端子は、直接パソコンの LAN ポート/イーサネット端子と接続しないでください。
- アンテナを持って本機を動かさないでください。
- 電気通信端末機器認定品の市販ルータ等に LAN 接続してください。

FLASHER IN端子付きの機器を接続する

コントロールボックスなどを接続することにより、本機をコントロールできます。



FLASHER IN 端子を使用する場合は、EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“INTERNAL”に設定してください。

リモートコントロール端子付きの機器を接続する

本機とマランツ製のアンプの組み合わせで接続して使用すると、本機経由で Marantz “Hi-Fi Remote” App を使ってアンプをコントロールすることができます。また、アンプで受信したリモコン信号を本機に伝達しコントロールできます。次の「接続」と「設定」をおこなってください。

接続

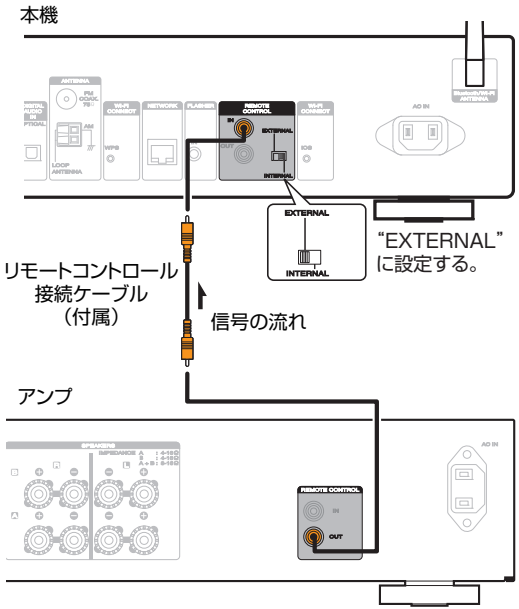
付属のリモートコントロール接続ケーブルで、本機の REMOTE CONTROL IN 端子とアンプの REMOTE CONTROL OUT 端子を接続します。

設定

本機の EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“EXTERNAL”に切り替えます。

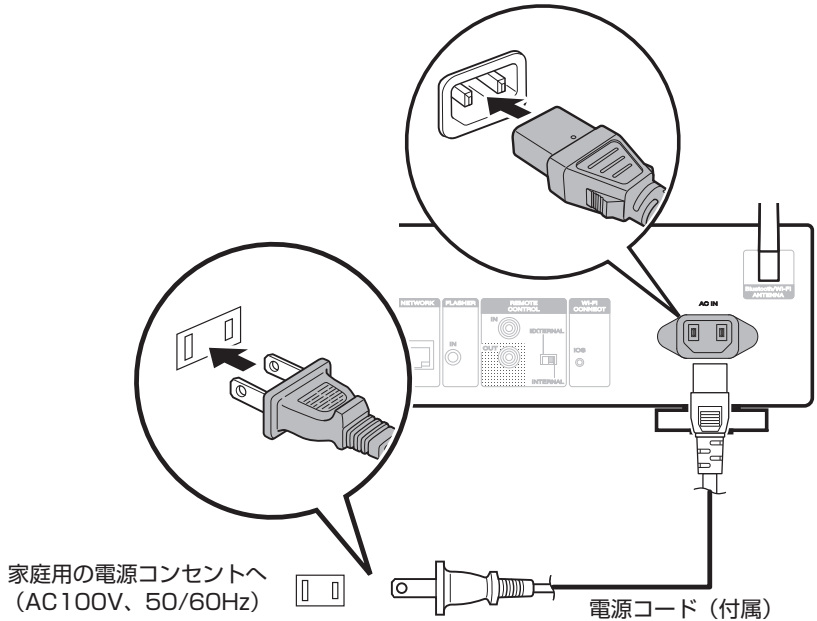
- 本機はリモコン受光部の受信を停止します。
- リモコンはアンプのリモコン受光部に向けて操作してください。

アンプを接続せずに本機のみご使用になる場合は、EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“INTERNAL”に切り替えてください。



電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。

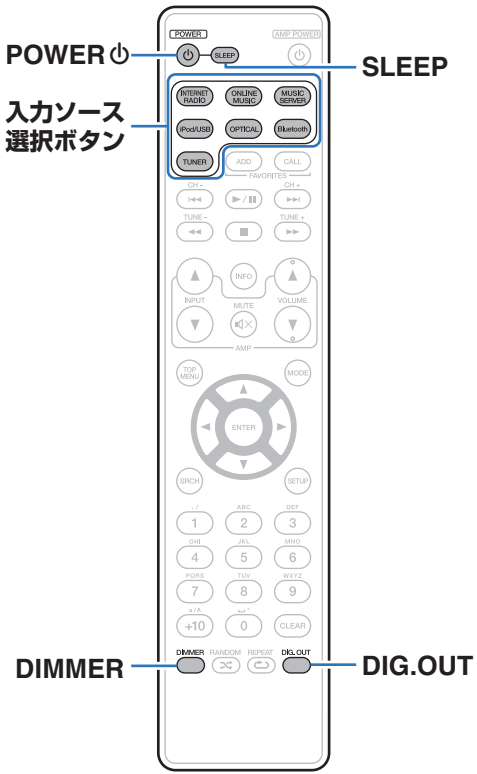


再生のしかた

■ 目次

基本操作	35
インターネットラジオを聴く	38
パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する	42
FM/AM 放送を聴く	47
お気に入り機能	49
iPod を再生する	51
USB メモリーを再生する	55
Bluetooth 機器の音楽を聴く	57
AirPlay 機能	61
Remote play 機能	63
ウェブコントロール機能	66
D/A コンバーター機能で再生する	72

基本操作



電源を入れる

1 **POWER ⏻ を押して、電源を入れる。**
電源表示が消灯します。

- 本体の ⏻ を押しても電源を入れることができます。
- お買い上げ後、初めて電源を入れたときに“かんたん設定”メニューが起動します。“かんたん設定”の操作のしかたについては、別冊の「かんたんスタートガイド」をご覧ください。
- “かんたん設定”メニューをキャンセルした場合、またはネットワーク環境を変更した場合は、“設定”－“かんたん設定”をおこなってください。

■ 電源をスタンバイにする

1 **POWER ⏻ を押す。**

スタンバイ状態になります。

- スタンバイ表示について
  電源オン時:オフ
  電源スタンバイ時:赤色
  “ネットワーク制御”の設定が“オン”のとき:オレンジ色
  iPod が充電スタンバイのとき:オレンジ色

ご注意

電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 電源を完全に切るには

電源プラグを壁のコンセントから抜いてください。

入力ソースを選ぶ

■ リモコンの操作で入力ソースを選ぶ

1 **再生する入力ソース選択ボタンを押す。**

- 入力ソースをダイレクトに選択できます。

入力ソースが"Tuner"のときに TUNER を押すと、FM/AM の切り替えをおこないます。

■ 本体の操作で入力ソースを選ぶ

1 **INPUT を押す。**

ボタンを押すたびに、入力ソースが切り替わります。

ディスプレイの明るさを切り替える

ディスプレイの明るさを消灯にすると、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

1 **DIMMER を押す。**

- ボタンを押すたびに、ディスプレイの明るさが切り替わります（4 段階）。

- ディスプレイの明るさを消灯にすると、ディスプレイに“DISPLAY OFF”を表示します。
- “消灯”設定時にボタン操作をおこなうと、一時的に 100%の明るさで点灯します。

デジタル音声出力を停止する

デジタル音声出力を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

1 **DIG. OUT を押す。**

ボタンを押すたびに、デジタル音声出力をオン/オフします。

オフにすると、フロントパネルの“DIG. OUT OFF”表示が点灯します。

スリープタイマーを設定する

設定した時間が経過すると、自動的に電源をスタンバイにすることができます。視聴しながらおやすみになるときに便利です。

1 **再生中に SLEEP を押して、設定時間を選ぶ。**

- ディスプレイの 表示が点灯します。
- 10 分～90 分の範囲で、10 分間隔で設定できます。

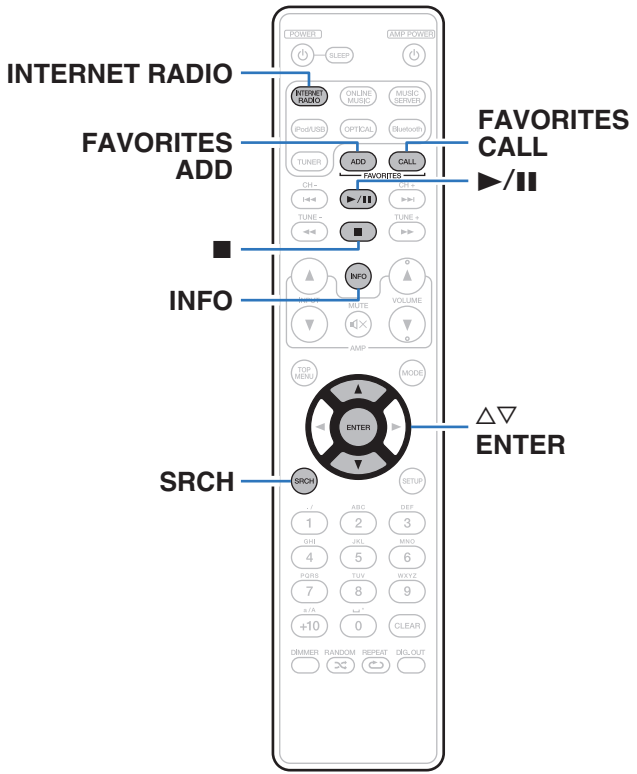
■ スリープタイマーを解除する

SLEEP を押して“Sleep ▶ オフ”を選ぶ。

ディスプレイの 表示が消灯します。

- 本機の電源がスタンバイになると、スリープタイマーの設定を解除します。
- スリープタイマーが動作するまでの残り時間を確認するときは、SLEEP を押してください。

インターネットラジオを聴く



- インターネットラジオとは、インターネット上に配信されているラジオ放送です。世界中のインターネットラジオ放送を聴くことができます。
- 本機で再生できる放送局の種類は、次のとおりです。
  - WMA
  - MP3
  - MPEG-4 AAC

インターネットラジオを聴く

本機は前回再生したインターネットラジオ局を記憶しています。INTERNET RADIO を押すと、他の入力ソースからインターネットラジオに切り替わり、前回再生していたインターネットラジオ局を再生します。

1 再生の準備をする。

- ネットワーク環境を確認してから、本機の電源を入れる。(☞28 ページ)

2 INTERNET RADIO を押す。

3 △▽ を押して再生したい項目を選び、ENTER を押す。

***** (日本) :	あなたの国の一般的なインターネットラジオ局を表示します。
ラジオ局の検索 :	本機で受信できるすべてのインターネットラジオ局を表示します。
Podcasts の検索 :	本機で受信できるポッドキャスト内のインターネットラジオ局を表示します。
お奨めのラジオ局 :	おすすめのインターネットラジオ局を表示します。
radiomarantz.com :	vTuner でお気に入りに登録しているインターネットラジオ局を表示します。vTuner でのお気に入り登録のしかたは、「vTuner でインターネットラジオ局をお気に入り登録する」(☞41 ページ)をご覧ください。
最近再生したラジオ局 :	最近再生したインターネットラジオ局を表示します。最大 20 局まで “最近再生したラジオ局” へ自動的に記憶します。
文字列による検索 :	キーワード検索したインターネットラジオ局を表示します。文字の入力方法については、「文字入力について」(☞76 ページ)をご覧ください。

4 △▽ を押して放送局を選び、ENTER を押す。

バッファリングが“100%”表示になると、再生がはじまります。

操作ボタン	機能
▶/❚❚	再生/停止
■	停止
FAVORITES CALL	お気に入りリストからの呼び出し
FAVORITES ADD	お気に入りリストへの追加
SRCH	文字検索 • リストがアルファベット順に並んでいない場合、文字検索ができないことがあります。
△ ▽ ◁ ▷	項目の選択
ENTER	選択項目の決定
INFO	ファイルタイプ/ビットレートや放送局名などの表示を切り替えます。

ディスプレイ表示に対応していない文字は、“ . ”(ピリオド)に置き換えて表示します。

ご注意

ラジオ局データベースサービスは、予告なく停止する場合があります。

vTuner でインターネットラジオ局をお気に入り登録する

世界中にはたくさんのインターネットラジオ局があり、本機はそれらを受信できます。しかし、ラジオ局が多すぎるために聴きたい放送を探すのは大変です。そこで本機専用のインターネットラジオ局検索ウェブサイト vTuner を使用してください。お手持ちのパソコンを使用して、インターネットラジオ局の検索と登録ができます。本機では vTuner に登録したラジオ局を再生できます。

1 本機の MAC アドレスを確認する。

- MAC アドレスは、vTuner のアカウント作成の際に必要になります。

2 お手持ちのパソコンから vTuner のサイト (http://www.radiomarantz.com)にアクセスする。

3 本機の MAC アドレスを入力し、“Go”をクリックする。

4 パソコンの E-mail アドレスと任意のパスワードを入力する。

5 お好みで検索条件(ジャンル/地域/言語など)を選ぶ。

- キーワードを入力し、聴きたい曲を探すこともできます。

6 表示されたリストからお好みのラジオ局を選び、お気に入り登録アイコンをクリックする。

7 お気に入りグループ名を入力し、“Go”をクリックする。

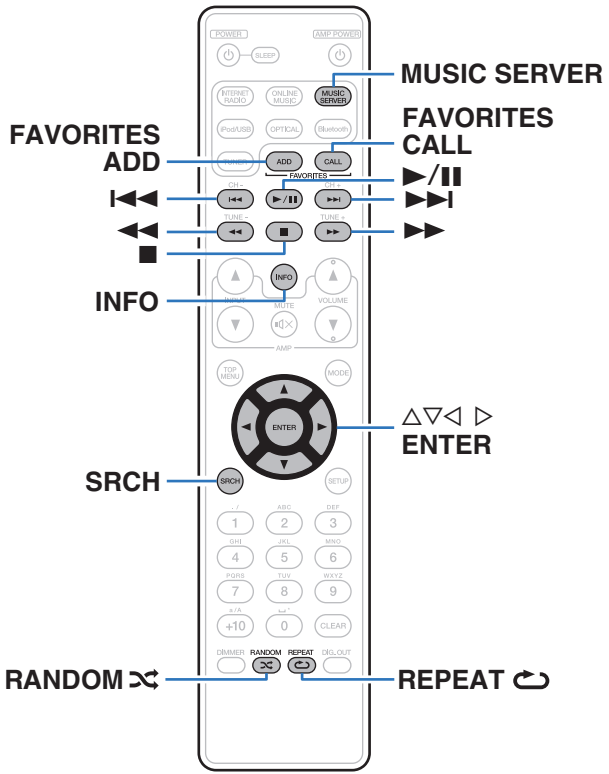
選択されたラジオ局が入ったお気に入りグループを新たに作成します。

- vTuner のお気に入りに登録したインターネットラジオ局は、本機の“radiomarantz.com”(☞39 ページ)から再生できます。

■ 再生できるファイルについて

「インターネットラジオ局の再生について」(☞109 ページ)をご覧ください。

パソコンやNASに保存されているファイルを再生する



- 本機では、パソコンや DLNA 対応のネットワーク接続ストレージ(NAS)に保存されている音楽ファイルやプレイリスト(m3u、wpl)を再生できます。
- 本機のネットワークオーディオ再生機能では、次の技術を利用してサーバーに接続します。
  - Windows Media Player Network Sharing Service
- 本機で再生できるファイルは、次のとおりです。
  - WMA
  - MP3
  - WAV
  - MPEG-4 AAC
  - FLAC
  - ALAC
  - AIFF
  - DSD (2 チャンネル)

メディアの共有設定をおこなう

パソコンや NAS に保存されている音楽ファイルをネットワーク上で共有するための設定をおこないます。
ミュージックサーバーを使用する場合は、事前に必ずこの設定をおこなってください。

■ Windows Media Player 12 (Windows 7、Windows 8)を使用する場合

1 パソコンで Windows Media Player 12 を起動する。

2 “ストリーム”から“その他のストリーミング　オプション...”を選ぶ。

3 “Marantz NA6005”のドロップダウンリストで“許可”を選ぶ。

4 “この PC とリモート接続のメディアプログラム...”のドロップダウンリストで“許可”を選ぶ。

5 画面に従い、設定を終了する。

■ Windows Media Player 11 を使用する場合

1 パソコンで Windows Media Player 11 を起動する。

2 “ライブラリ”から“メディアの共有”を選ぶ。

3 “メディアを共有する”をチェックして“Marantz NA6005”を選び、“許可”をクリックする。

4 手順 3 と同様に、メディアコントローラーとして使用したい機器(他のパソコンやモバイル端末)のアイコンを選び、“許可”をクリックする。

5 “OK”をクリックして終了する。

■ NAS に保存したメディアを共有する

本機およびメディアコントローラとして使用したい機器(他のパソコンやモバイル端末)が NAS にアクセスできるよう、NAS の設定を変更してください。詳しくは、ご使用の NAS に付属の取扱説明書をご覧ください。

パソコンやNASに保存されているファイルを再生する

音楽ファイルやプレイリストを再生できます。

1 再生の準備をする。

① ネットワーク環境を確認してから、本機の電源を入れる。「ホームネットワーク(LAN)に接続する」(☞28 ページ)

② パソコンの準備をする(☞ パソコンの取扱説明書)。

2 MUSIC SERVER を押す。

3 △▽ を押して再生したいファイルのあるサーバーを選び、ENTER を押す。

4 △▽ を押してファイルを選び、ENTER を押す。

バッファリングが“100%”表示になると、再生をはじめます。

操作ボタン	機能
▶/❚❚	再生/一時停止
■	停止
⏮ ⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
◀◀ ▶▶	(長押し) 早戻し/早送り
FAVORITES CALL	お気に入りリストからの呼び出し
FAVORITES ADD	お気に入りリストへの追加
SRCH	文字検索 • リストがアルファベット順に並んでいない場合、文字検索ができないことがあります。
RANDOM	ランダム再生
REPEAT	リピート再生 • 1 曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
△ ▽ ◁ ▷	項目の選択
ENTER	選択項目の決定
INFO	ファイルタイプ/ビットレートやアーティスト名、アルバム名の表示の切り替え

■ 再生できるファイルについて

「パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する」(☞110 ページ)をご覧ください。

Windows Media Player(バージョン 11 以上)などのトランスコードに対応したサーバーをご使用になる場合は、WMA Lossless ファイルを再生できます。

ご注意

- 無線 LAN を経由して接続されたパソコンまたは NAS で音楽ファイルを再生すると、無線 LAN 環境に応じて音声が中断されることがあります。この場合は、有線 LAN で接続してパソコンや NAS との音楽ファイルを再生してください。
- 曲の表示順は、サーバーの仕様によって異なります。サーバーの仕様によって、曲の表示順がアルファベット順にならない場合は、頭文字での検索が正しく動作しないことがあります。

くり返し再生する (リピート再生)

1 **REPEAT を押す。**

リピート再生をはじめます。

- ボタンを押すたびに、リピートモードが切り替わります。

(1 曲リピート):	1 曲のみをくり返して再生します。
(全曲リピート):	再生中のフォルダ内の曲をくり返して再生します。
リピートオフ (表示消灯):	通常の再生に戻ります。

順不同に再生する (ランダム再生)

1 **RANDOM⤮ を押す。**

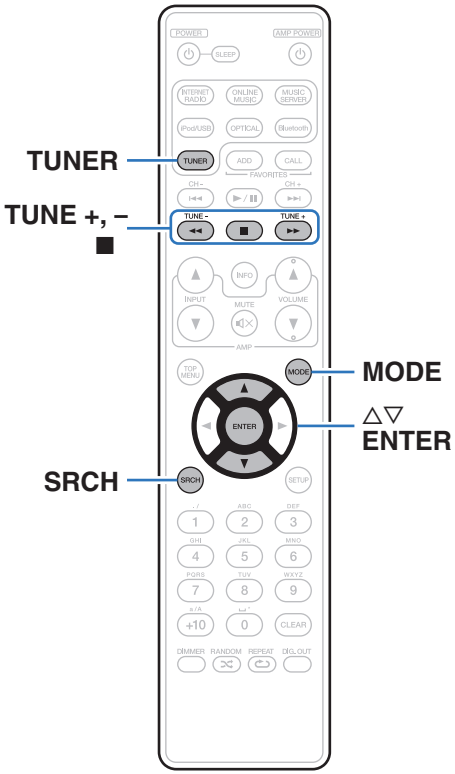
ディスプレイの ⤮ 表示が点灯し、現在再生中のフォルダ内にあるすべての曲をランダムに再生します。

■ ランダム再生を解除する

RANDOM⤮ を押す。

ディスプレイの ⤮ 表示が消灯します。

FM/AM放送を聴く



アンテナの接続については、(☞26 ページ)をご覧ください。

FM/AM放送を聴く

1 **TUNER を押して、受信バンドを選ぶ。**

FM:	FM 放送を聴くときに選択します。
AM:	AM 放送を聴くときに選択します。

2 **TUNE +または TUNE −を押して、聴きたい放送局を選ぶ。**

受信すると、ディスプレイに TUNED を表示します。

受信モードを変更する(チューニングモード)

受信モードを変更します。オートモード(AUTO)で自動的に放送局を受信できないときは、マニュアルモード(表示無し)に変更し、手動で放送局を受信してください。

1 **FM 放送局を受信中に MODE を押す。**

オート(AUTO):	自動的に受信できる放送局を探して受信するモードです。
マニュアル(表示無し):	ボタン操作で 1 ステップずつ周波数を切り替えて受信するモードです。

FM 放送局を自動的にプリセットする(オートプリセット)

お気に入りリストに最大 50 局の放送局を登録できます。お気に入りリストについては、「お気に入り機能」(☞49 ページ)をご覧ください。

1 **FM 放送局を受信中に SRCH を押す。**

“オートプリセット”メニューを表示します。

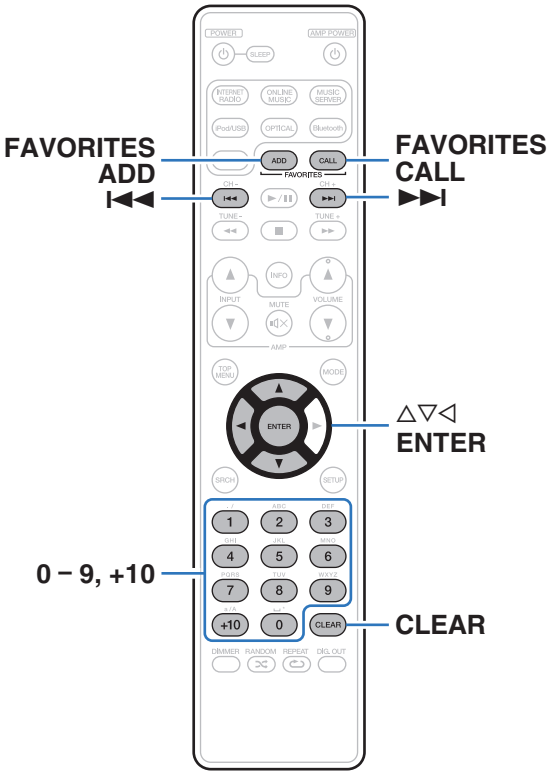
2 **△▽ を押して“開始する”を選び、ENTER を押す。**

自動で放送局を受信し、プリセットをはじめます。

- プリセットが完了すると“設定完了しました”を表示します。

- オートチューニングを停止するときは ■ を押してください。
- オートチューニングで聴きたい放送局を受信できない場合は、マニュアルチューニングで放送局を受信してください。
- お気に入りのリスト 50 個すべての項目が登録されると、追加登録ができません。
- AM 放送局はオートプリセットできません。

お気に入り機能



ここではお気に入り機能について説明します。

- お気に入り機能とは、好きな放送局やファイルをあらかじめお気に入りリストに登録することにより、いつでもすぐに好きな放送局やファイルを呼び出して聴くことができる機能です。
- 登録や呼び出しが可能なコンテンツは、インターネットラジオ、ミュージックサーバー、チューナー、USB および iPod です (Remote iPod モードのとき)。
- お気に入りリストには最大 50 個の放送局やファイルを登録できます。

放送局またはファイルをお気に入りリストに登録する

1 **登録したい放送局やファイルの再生中に FAVORITES ADD を押す。**
お気に入りリストを表示します。

2 **△▽ を押して再生中の放送局またはファイルを登録する番号を選び、ENTER を押す。**
“お気に入りに追加”を表示し、登録を完了します。

お気に入りリストに登録した放送局またはファイルを呼び出す

1 FAVORITES CALL を押す。

2 **⏮ ⏭ または △▽ を押して呼び出したい放送局またはファイルを選び、ENTER を押す。**
各ソースに移行して、再生をはじめます。

0〜9、+10 を押すと、お気に入りに登録した放送局やファイルを番号で呼び出せます。

お気に入りリストに登録した放送局やファイルを再生中、登録した放送局またはファイルを切り替える

1 **⏮ ⏭ または △▽ を押す。**

お気に入りリストから放送局またはファイルを削除する

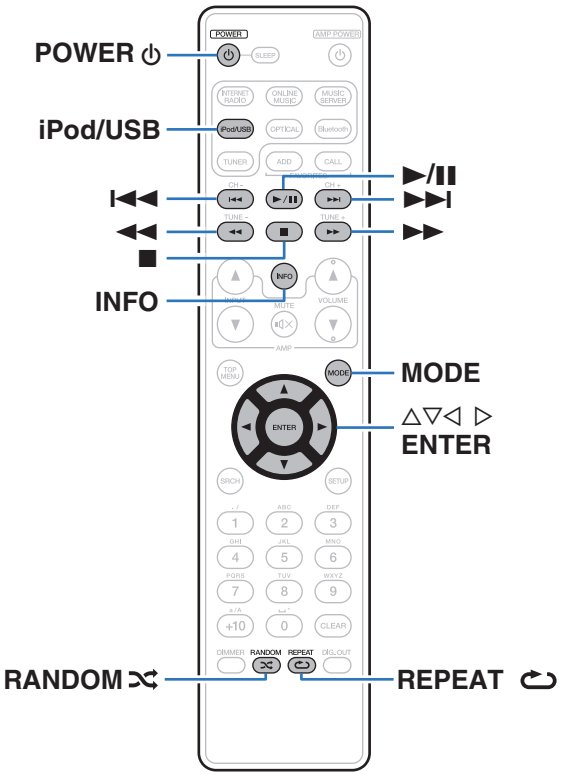
1 FAVORITES CALL を押す。

2 **△▽ を押して削除したい放送局またはファイルを選び、CLEAR を押す。**

3 **“削除しますか？”が表示されたら ENTER を押す。**
“削除しました。”を表示し、削除を完了します。

操作を中止するときは、◁ を押してください。

iPodを再生する



- iPod に付属している USB ケーブルを使用して iPod を本機の USB 端子に接続すると、iPod の音楽を楽しむことができます。
- 本機で再生できる iPod は、「対応している iPod/iPhone」(☞25 ページ)をご覧ください。

iPodの音楽を聴く

1 **iPodを本機のUSB端子に接続する。(☞24ページ)**

2 **iPod/USBを押して、入力ソースを“iPod/USB”に切り替える。**

本機のディスプレイに“Direct iPod”を表示します。

3 **iPodの画面を見ながら直接iPod本体を操作して、音楽を再生する。**

- iPodの表示モードには、“Direct iPod”と“Remote iPod”があります。お買い上げ時の設定は、iPodの画面を見ながら直接iPod本体を操作する“Direct iPod”です。
- iPodの情報を本機のディスプレイに表示させて操作する“Remote iPod”に変更したい場合は、「オペレーションモードの設定(Remote iPodモード)」(☞53ページ)をご覧ください。
- iPodの音楽は、「AirPlay機能」(☞61ページ)を使用しても聴くことができます。

ご注意

- iPodの種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。
- 万一iPodのデータが消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。

オペレーションモードの設定(Remote iPod モード)

このモードでは、iPod の各種リストや再生中の表示を本機のディスプレイに表示します。
ここでは、“Remote iPod” で iPod 内の曲を再生するまでの手順を説明します。

1 **MODE を押して、“Remote iPod” を表示させる。**

2 **△▽ を押して再生したいファイルを選び、ENTER を押す。**

再生をはじめます。

表示モード		Direct iPod	Remote iPod
再生できるファイル	音楽ファイル	✓	✓
	映像ファイル	*	
操作できるボタン	本機のリモコン	✓	✓
	iPod	✓	

* 音声のみ再生します。

操作ボタン	機能
▶/II	再生/一時停止
■	停止
⏮ ⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
◀◀ ▶▶	(長押し) 早戻し/早送り
RANDOM	ランダム再生
REPEAT	リピート再生 • 1 曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
MODE	Remote iPod と Direct iPod を切り替えます。
△ ▽ ◁ ▷	項目の選択
ENTER	選択項目の決定
INFO	アーティスト名とアルバム名の表示切り替え

ご注意

- 万一 iPod のデータを消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。
- iPod の種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。

iPod/iPhoneの充電

iPod や iPhone を USB 端子に接続すると、充電ができます。

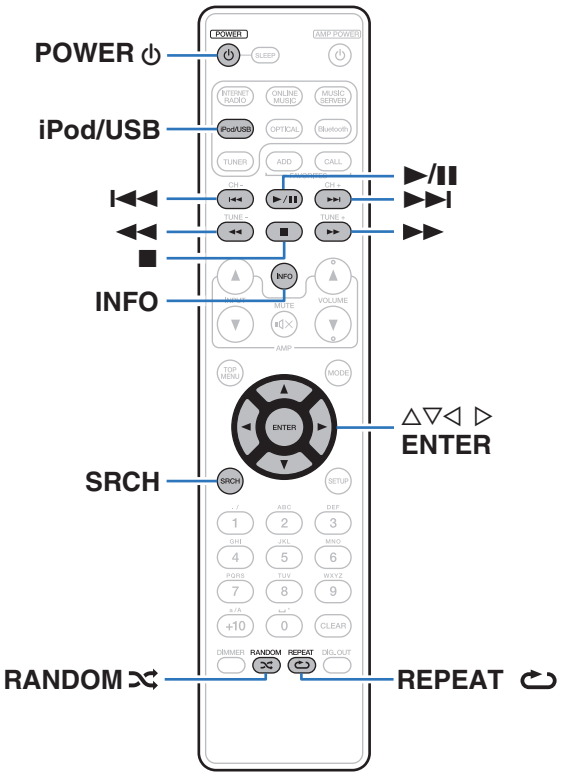
■ スタンバイ充電

iPod や iPhone を充電中に本機がスタンバイ状態に入った場合、スタンバイ充電モードに切り替えて、iPod や iPhone を充電します。スタンバイ充電モードでは、スタンバイ表示がオレンジ色に変わります。

iPod や iPhone が完全に充電されると、スタンバイ表示が赤色に変わって通常のスタンバイ状態になります。

“ネットワーク制御”の設定が“オン”のときは、充電完了後も電源表示はオレンジ色に点灯します。

USB メモリーを再生する



- USB メモリーに保存された音楽ファイルを再生します。
- 本機は、マスストレージクラスおよび MTP(Media Transfer Protocol)に対応している USB メモリーのみ再生できます。
- USB メモリーは、FAT16 または FAT32 フォーマットに対応しています。
- 本機で再生できるファイルは、次のとおりです。
  - WMA
  - MP3
  - WAV
  - MPEG-4 AAC
  - FLAC
  - ALAC
  - AIFF
  - DSD

USB メモリーに保存されているファイルを再生する

1 **USB メモリーを本機の USB 端子に接続する。**
(☞24 ページ)

2 **iPod/USB を押して、入力ソースを “iPod/USB” に切り替える。**

3 **△▽ を押して再生したいファイルを選び、ENTER を押す。**
再生をはじめます。

操作ボタン	機能
▶/II	再生/一時停止
■	停止
⏮ ⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
◀◀ ▶▶	(長押し) 早戻し/早送り
RANDOM	ランダム再生
REPEAT	リピート再生 • 1 曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
SRCH	文字検索 • リストがアルファベット順に並んでいない場合、文字検索ができないことがあります。
△ ▽ ◁ ▷	項目の選択
ENTER	選択項目の決定
INFO	アーティスト名とアルバム名の表示切り替え

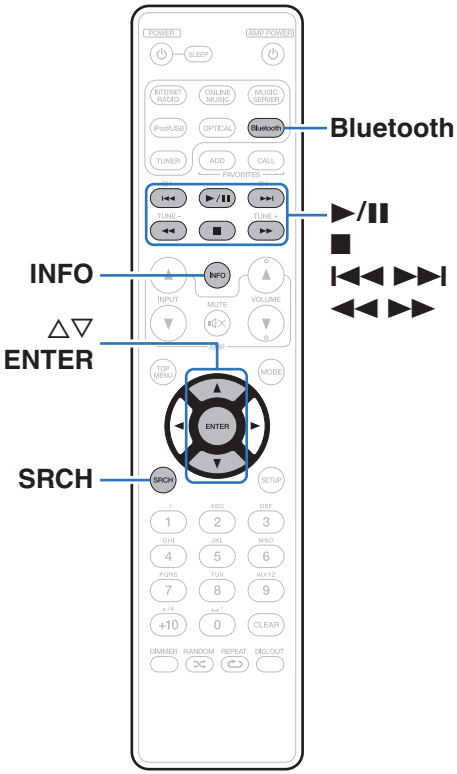
ご注意

万一 USB のデータが消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。

■ 再生できるファイルについて

「USB メモリーの再生について」(☞107 ページ)をご覧ください。

Bluetooth 機器の音楽を聴く



スマートフォンやデジタル音楽プレーヤーなどの Bluetooth 機器と本機をペアリングして接続すると、Bluetooth 機器の音楽ファイルをワイヤレスで楽しむことができます。
約 10m の範囲内で通信できます。

ご注意

Bluetooth 機器側の音楽を再生するには、Bluetooth 機器側が A2DP プロファイルをサポートしている必要があります。

Bluetooth 機器とペアリングする

Bluetooth 機器の音楽を本機で楽しむときは、あらかじめご使用になる Bluetooth 機器と本機をペアリングしてください。
一度ペアリングすれば、再度ペアリングする必要はありません。

1 Bluetooth を押して、入力ソースを“Bluetooth”に切り替える。

はじめてご使用になる場合は、自動的にペアリングモードになり、本機のディスプレイに“ペアリングモード”を表示します。

2 Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧に本機の名称が表示されたら、本機を選ぶ。

ペアリングが完了すると、本機のディスプレイに機器名を表示します。

- 本機のディスプレイに“ペアリングモード”が表示されている間に、Bluetooth 機器の接続操作をおこなってください。
  また、Bluetooth 機器の接続操作は、本機に近い距離（1m 程度）でおこなってください。

- 2 台目の Bluetooth 機器と接続する場合には、リモコンの Bluetooth または本体の INPUT を約 3 秒間長押しするか、入力ソースが“Bluetooth”のときに SRCH を押してペアリングしてください。
- 本機は最大 8 台の Bluetooth 機器とペアリングできます。9 台目の Bluetooth 機器をペアリングすると、一番古い機器に置き換えて登録します。
- 本機のディスプレイに数値が表示された場合は、Bluetooth 機器の画面に表示された数値と同じ値であることを確認し、本機と Bluetooth 機器ともに“ペアリング”を選択してください。（本機で“ペアリング”を選択するには、本機の ENTER を押してください。）
- Bluetooth 機器側の画面でパスワードを要求された場合は、“0000”を入力してください。

Bluetooth 機器の音楽を再生する

音楽を再生する前に、次のことを確認してください。
- Bluetooth 機器の Bluetooth 機能がオンになっていること
- ペアリングが完了していること

1 Bluetooth を押して、入力ソースを “Bluetooth” に切り替える。

本機が最後に接続した Bluetooth 機器に自動的に接続します。

2 Bluetooth 機器の再生をはじめる。

- 本機のリモコンでも Bluetooth 機器を操作できます。

操作ボタン	機能
►/II	再生/一時停止
■	停止
I◄◄ ►►I	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
◄◄ ►►	(長押し)早戻し/早送り

- 本機の電源がオンの状態のとき、Bluetooth 機器の接続操作をおこなうと、自動的に入力ソースを “Bluetooth” に切り替えます。
- 本機の “ネットワーク制御” 設定を “オン” にし、本機がスタンバイ状態のときに Bluetooth 機器から接続操作をおこなうと自動的に本機の電源をオンします。
- 再生中に本体の INFO を押すと、タイトル名、アーティスト名、アルバム名などを切り替えて表示します。
- 本体のディスプレイには、半角英数字と一部の記号のみ表示することができます。対応していない文字は “.(ピリオド)” に置き換えて表示します。

ご注意

- 本機のリモコンで操作するには、Bluetooth 機器側が AVRCP プロファイルに対応している必要があります。
- すべての Bluetooth 機器に対するリモコン操作を保証するものではありません。
- Bluetooth 機器によっては、本機は Bluetooth 機器側で設定している音量と連動して音声を出力します。

ペアリングモードでペアリングする

Bluetooth 機器と本機をペアリングします。

1 入力ソースが“Bluetooth”のときに SRCH を押す。

ペアリングモードになります。

- Bluetooth を 3 秒長押しするか、入力ソースを“Bluetooth”に切り替えたあとに本体の INPUT を 3 秒以上長押ししても、ペアリングモードになります。

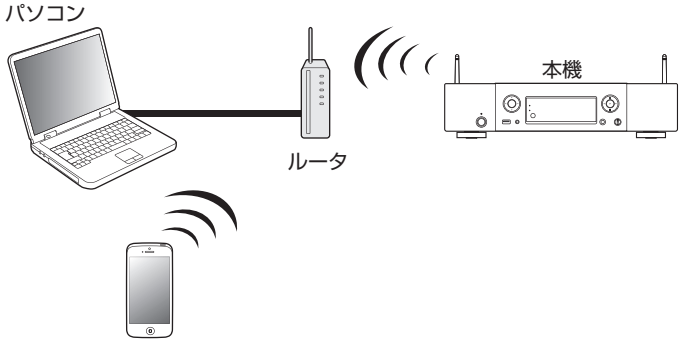
2 Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧に本機の名称が表示されたら、本機を選ぶ。

ペアリングが完了すると、本機のディスプレイに機器名を表示します。

- 本機のディスプレイに数値が表示された場合は、Bluetooth 機器の画面に表示された数値と同じ値であることを確認し、本機と Bluetooth 機器ともに“ペアリング”を選択してください。
- Bluetooth 機器側の画面でパスワードを要求された場合は、“0000”を入力してください。

AirPlay 機能

iPhone、iPod touch、iPad や iTunes に保存されている音楽ファイルを、ネットワークを経由して本機で再生できます。



- 本機の ◁ を押すか他の入力ソースに切り替えると、AirPlay の再生が停止します。
- INFO を押すと、アルバム名とアーティスト名を確認できます。
- iTunes の使用方法は、iTunes の“ヘルプ”をご覧ください。
- 画面は、OS やソフトのバージョンによって異なる場合があります。

iPhone、iPod touch、iPad の曲を本機で再生する

iPhone、iPod touch、iPad を iOS 4.2.1 以上にアップデートすると、iPhone、iPod touch、iPad の曲を本機へダイレクトにストリーミングできます。

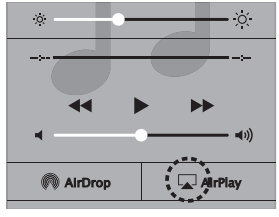
1 **iPhone、iPod touch または iPad の Wi-Fi 設定を本機と同じネットワークに接続する。**

- 詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

2 **iPhone、iPod touch、iPad の曲を再生する。**

iPhone、iPod touch または iPad の画面に ⍓ を表示します。

3 **AirPlay アイコン ⍓ をタップする。**



4 **再生したいスピーカー(機器)をクリックする。**

iTunesの音楽を本機で再生する

1 **本機と同じネットワークに接続しているパソコンに、iTunes10 以降をインストールする。**

2 **本機の電源を入れる。**

本機の“ネットワーク制御”の設定を“オン”にしてください。(☞83 ページ)

ご注意

“ネットワーク制御”を“オン”に設定すると、スタンバイ時の待機電力は“オフ”に設定しているときより多く消費します。

3 **iTunes を起動し、AirPlay アイコンをクリックして、本機を選ぶ。**

4 **iTunes で曲を選び、再生する。**

本機で再生をはじめます。

複数のスピーカー(機器)を選ぶ

ご家庭にある本機以外の AirPlay 対応のスピーカー(機器)で iTunes の曲を再生できます。

1 **AirPlay アイコン をクリックして、“複数の”を選ぶ。**

2 **再生したいスピーカー(機器)をクリックする。**

Remote play 機能

ご家庭のネットワークを使用してパソコンや NAS、スマートフォン、ポータブルオーディオプレーヤに保存している音楽ファイルを DLNA（Digital Living Network Alliance）の機能を使って本機で再生できます。

- それぞれの機器が DLNA の Ver. 1.5 規格に準拠している必要があります。
- スマートフォンやポータブルオーディオの再生にはワイヤレス LAN の環境が必要です。
- スマートフォンによっては、DLNA の音楽再生のためのアプリをインストールする必要がある場合があります。

■ それぞれの機器の役割

Remote play 再生には次の機器を使用します。DLNA 規格上、それぞれの役割によって DMC、DMS、DMR と呼びます。

呼称	機器例	役割
DMC (Digital Media Controller)	• パソコン • スマートフォン • ポータブルオーディオプレーヤ • Marantz "Hi-Fi Remote" App	Remote play 再生の操作をします。 これらの機器に保存している音楽ファイルを再生することもできます。
DMS (Digital Media Server)	• パソコン • NAS (Network Attached Storage)	音楽ファイルの保存をします。 DMC でこれらの機器に保存している音楽ファイルを再生操作します。
DMR (Digital Media Renderer)	• 本機	Remote play で再生した音楽ファイルをスピーカーから出力します。再生操作はできません。

■ 再生できるファイルについて

「パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する」(☞110 ページ)をご覧ください。

それぞれの機器に必要な設定

Remote play 再生をおこなうために、DMC と DMS の設定が必要です。次の設定をおこなってください。なお、設定については各機器の取扱説明書をご覧ください。

■ パソコンや NAS の設定

パソコンや NAS が DMS 機器や DMR 機器とデータのやり取りができるように設定をします。
設定の方法は、「メディアの共有設定をおこなう」(☞43 ページ)をご覧ください。

■ スマートフォンの設定

スマートフォンから DMS や本機 (DMR) を操作するために、スマートフォンに DLNA の音楽再生のためのアプリをインストールする必要があります。これらの適応アプリはスマートフォンによって異なります。

一部のスマートフォンでは初めから DLNA 音楽再生に対応している機種もあります。スマートフォンの取扱説明書でご確認ください。

■ ポータブルオーディオプレーヤの設定

ポータブルオーディオプレーヤの音楽ファイルを本機 (DMR) で再生するための設定をおこなってください。設定のしかたは、各ポータブルオーディオプレーヤの取扱説明書をご覧ください。

■ 本機の設定

DLNA ネットワークに接続してください。それ以外の設定の必要はありません。
ネットワークの接続については、別冊の「かんたんスタートガイド」、「ホームネットワーク(LAN)に接続する」(☞28 ページ)または「ネットワーク」(☞83 ページ)をご覧ください。

■ Remote play の操作

操作のしかたは、それぞれの機器によって異なりますが、Remote play のための準備の手順は同じです。ここでは準備する手順を説明します。

1 本機の電源をオンにする。

- 本機がネットワークに接続できることを確認してください。

2 DMC の音楽ファイル再生画面を表示する。

- パソコンの場合は、Windows Media Player12 などを開く。
- スマートフォンの場合は音楽ファイル再生モードに切り替える。

3 再生画面の再生機器を設定する項目で、本機のフレンドリ名を選ぶ。

- 本機のお買い上げ時のフレンドリ名は “Marantz NA6005” です。

4 DMC で音楽ファイルの再生をはじめる。

- 本機のファンクションが自動的にミュージックサーバーに切り替わり、ディスプレイに Remote Play マーク を表示して Remote play をはじめます。

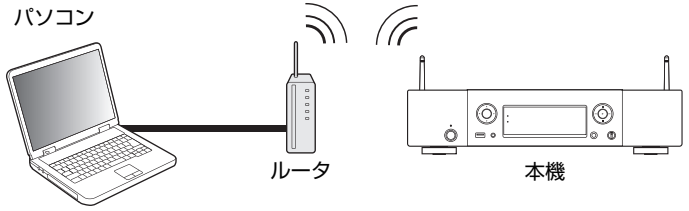
Remote play 機能を解除するときは ◁ を押してください。

ご注意

Remote play 中に本機で再生操作はできません。DMC 機器で操作してください。

ウェブコントロール機能

ブラウザに表示されるウェブコントロール画面を使用して、本機を操作できます。



- ウェブコントロール機能をご使用になるには、本機とパソコンがネットワークに正しく接続されている必要があります。(☞28 ページ)
- セキュリティソフトなどの設定により、パソコンから本機にアクセスできないことがあります。そのような場合には、セキュリティソフトの設定を変更してください。

ウェブコントロール機能で本機をコントロールする

1 設定メニューの“ネットワーク制御”を“オン”にする。(☞83 ページ)

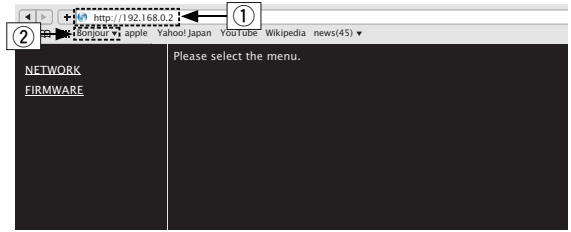
2 設定メニューの“ネットワーク情報”で、本機の IP アドレスを確認する。
(☞83 ページ)

IP アドレスを確認する

3 ブラウザを起動する。

4 ブラウザのアドレスボックスに、本機の IP アドレスを入力する。

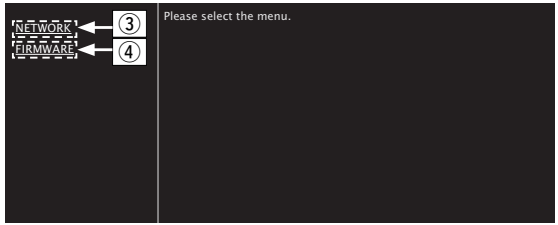
例えば、本機の IP アドレスが“192.168.0.2”の場合は、“http://192.168.0.2”と入力してください。



① IP アドレスを入力します。
② Safari ブラウザをご使用になる場合は、“Bonjour”を選択するとウェブコントロール画面に直接アクセスできます。

ブラウザのブックマーク機能で本機の IP アドレスを登録しておくと、次回からブックマーク機能を使用してウェブコントロール画面を表示できます。ただし、DHCP サーバーをご使用の場合は、“ネットワーク制御”(☞83 ページ)の設定が“オフ”のときに電源をオン/オフすると、IP アドレスが変更になりますのでご注意ください。

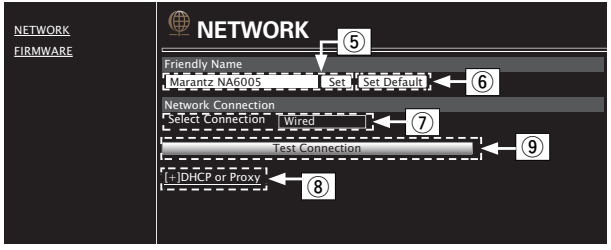
5 トップメニューが表示されたら、操作したいメニューをクリックする。



③ ネットワークの設定時にクリックします。(☞【例 1】)
④ ファームウェア更新時にクリックします。(☞70 ページ)

6 操作する。

【例 1】ネットワーク設定 1



❑ フレンドリ名(Friendly Name)の設定

⑤ フレンドリ名を変更するときは、テキストボックスに新しいフレンドリ名を入力し、“Set”をクリックします。

⑥ フレンドリ名をリセットするときは、“Set Default”をクリックします。

本機に表示できる文字のみ設定できます。(☞76 ページ)

❑ ネットワーク接続設定

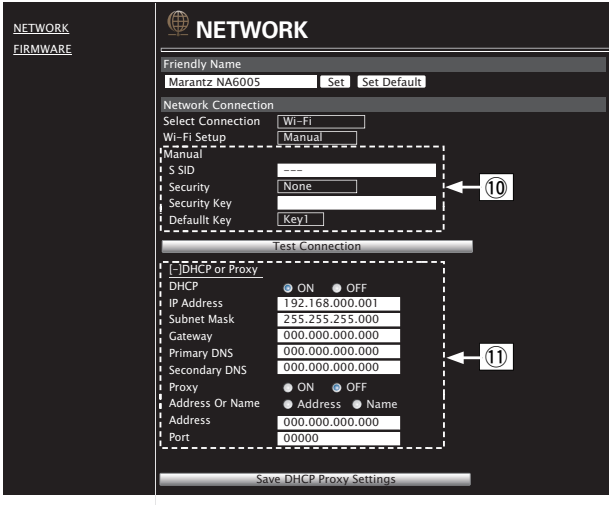
⑦ 接続方法を選択するときにクリックします。“Wi-Fi”を選択すると新たな項目を画面に表示します。(☞【例 2】)

⑧ DHCP やプロキシを設定するときにクリックします。(☞【例 2】)

⑨ 設定を反映し接続を開始するときにクリックします。

7 操作する。

【例 2】ネットワーク設定 2



❑ ネットワーク接続設定

⑩【例 2】−⑦ で“Wi-Fi”を選択したときに表示します。各項目を選択または入力した後、“Test Connection”をクリックして設定を反映してください。

- 選択項目や接続状態により表示される項目が変わります。
- 各項目を選択したあとは、表示が更新されるまでしばらくお待ちください。

⑪【例 2】−⑧ で“DHCP”または“Proxy”を選択したときに表示します。DHCP やプロキシの設定を変更するときは、各項目を入力または選択してください。

ネットワーク接続の設定を反映させるためには、最後に“Test Connection”をクリックしてください。

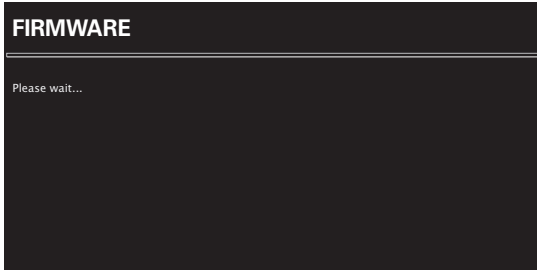
■ ウェブブラウザでのアップデート

あらかじめ同じネットワーク内にあるパソコンに「ウェブコントロール機能」(☞66 ページ)の設定をおこなってください。
アップデートファイルの入手方法は、当社の修理･サービス窓口にお問い合わせください。

1 「ウェブコントロール機能」(☞66 ページ)の手順５の ④ をクリックする。

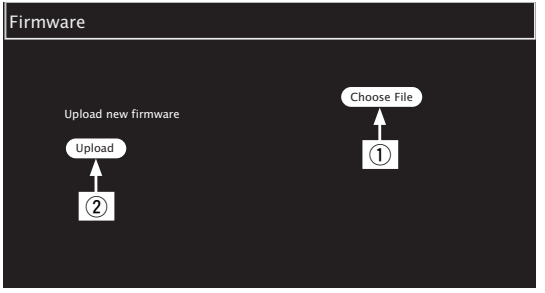
パソコンに次の画面を表示します。
この状態で約１分間待ちます。
または、本体に表示する IP アドレスをウェブブラウザに入力してアクセスします。

【 ウェブブラウザの表示 】



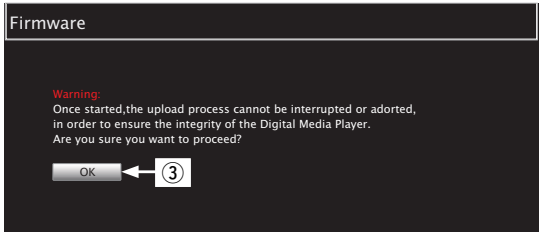
【 本機の表示 】

2 次の画面を表示後、“参照...”(①)をクリックし、アップデートファイルを選び、“Upload”(②)をクリックする。



3 “OK”(③)をクリックする。

アップデートをはじめます。



ご注意

アップデート中は、本体の操作をしないでください。

4 次の画面が表示されたらアップデートは完了です。

ボタン名はパソコン上で使用する OS の言語で異なる場合があります。

D/A コンバーター機能で再生する

デジタル機器と接続して再生する (Optical)

1 **OPTICAL を押して、入力ソースを “Optical” にする。**

入力しているデジタル音声信号を次のように表示します。

(xxxx はサンプリング周波数を表示します。)

- サンプリング周波数を検出できない場合は、“入力無し” を表示します。
- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“非対応です” を表示します。

■ 再生できるフォーマットについて

「D/A コンバーターについて」(☞108 ページ)をご覧ください。

ご注意

- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーが破損する恐れがあります。
- CS 放送の A モードから B モードなど、サンプリング周波数が切り替わったときには、1～2 秒程度消音になり、音が途切れることがあります。

設定のしかた

メニュー 一覧

メニューの操作をおこなうときは、参照ページをご覧ください。
本機はお買い上げ時の設定をおすすめの設定にしてあります。ご使用のシステムやお好みに合わせて本機をカスタマイズすることができます。

■ かんたん設定

設定項目	説明	参照ページ
かんたん設定	ネットワークの各種設定をウィザード形式で表示します。操作のしかたについては、別冊の「かんたんスタートガイド」をご覧ください。	–

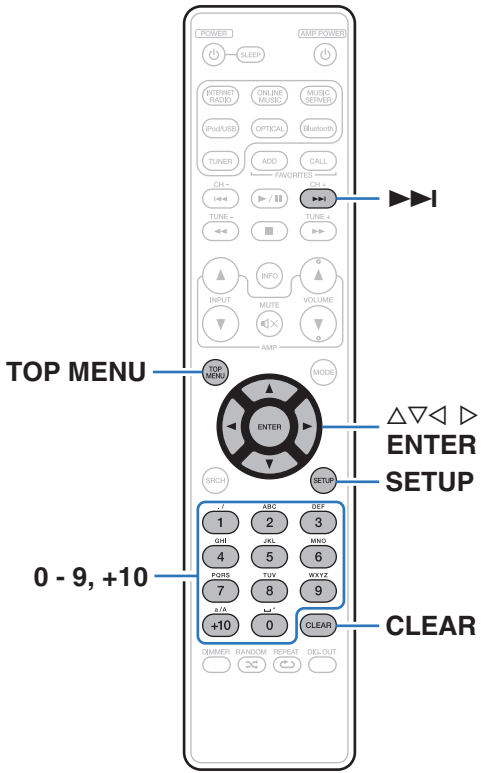
■ 一般

設定項目		説明	参照ページ
オーディオ出力		アナログ音声出力の音量を固定にするか、可変にするかを設定します。	78
音量の上限		アナログ音声出力を可変にした場合の音量の上限を設定します。	78
言語		ディスプレイに表示する言語を選択します。	79
オートスタンバイ		未使用時、本機の電源をスタンバイにします。	79
使用状況の送信設定		お客様の使用状況の情報を当社へ送信するかしないかの設定をします。	80
ファームウェア		ファームウェアの最新アップデート情報の確認や更新の実施、およびアップデートとアップグレードの通知メッセージを表示するかしないかの設定をします。	80
	アップデート	ファームウェアをアップデートします。	80
	お知らせ機能	アップデート、アップグレードの通知メッセージやその他のお知らせを表示するかしないかの設定をします 。	81
	新機能の追加	ダウンロード可能な新機能を表示し、アップグレードします。	81

■ ネットワーク

設定項目	内　容	参照ページ
ネットワーク情報	ネットワークの情報を表示します。	83
ネットワーク制御	電源がスタンバイ状態でのネットワーク機能の設定をします。	83
フレンドリ名	フレンドリ名は、ネットワーク上に表示される本機の名称で、お好みによって変更できます。	84
接続の設定	有線または無線 LAN の設定をします。	84
有線 LAN を設定	有線 LAN の設定をします。	84
DHCP（オン）または DHCP（オフ）	DHCP の設定をします。	84
IP アドレス *	IP アドレスの設定をします。	85
サブネットマスク *	サブネットマスクを入力します。	85
ゲートウェイ *	ゲートウェイの設定をします。	85
プライマリー DNS *	プライマリ DNS を入力します。	85
セカンダリー DNS *	セカンダリー DNS を入力します。	85
プロキシ	プロキシの設定をします。	85
接続を開始	有線 LAN へ接続します。	–
Wi-Fi の設定方法	無線 LAN の設定をします。	86
自動検索	Wi-Fi 接続をアクセスポイント一覧から選択し、設定します。	86
iOS 機器の Wi-Fi 設定を共有	iOS 製品を使用して無線接続をおこないます。(iOS version 7 以降)	87
WPS (Wi-Fi Protected Setup)	Wi-Fi 接続を WPS 方式で設定します。	87
WEB ブラウザ設定	Wi-Fi 接続をウェブブラウザを使用して設定します。	87
手動設定	Wi-Fi 接続を手動で設定します。	90

＊ “DHCP”の設定が“オフ”の時に表示します。



メニューの操作のしかた

1 **SETUP を押す。**
ディスプレイにメニューを表示します。

2 **△▽ を押して設定または操作したいメニューを選び、ENTER を押す。**

3 **△▽ を押して、お好みの設定に変更する。**

4 **ENTER を押して、設定を確定する。**

- 前の項目に戻るときは、◁ を押してください。
- メニューを終了するときは、メニュー表示中に SETUP を押してください。通常表示に戻ります。
- トップメニューに戻るときは、メニュー表示中に TOP MENU を押してください。

文字入力について

本機では、フレンドリ名をお好みに合わせて変更できます。また、文字を入力してインターネットラジオ局や音楽ファイルの検索ができます。

文字の入力には、次の 2 とおりの方法があります。

入力方式	操作の概要
数字ボタンで入力する	• リモコンで操作します。 • 1 つのボタンに複数の文字が割り当ててあり、ボタンを押すたびに文字が切り替わります。
カーソルボタンで入力する	• リモコンまたは本体で操作します。 • △▽◁▷ または ENTER を押して文字を入力します。

■ 入力画面の表示

【フレンドリ名入力】

＊ 入力する文字タイプが表示されます。
(+10 で文字タイプを切り替えます。)
a:英小文字
A:英大文字
1:数字

■ 数字ボタンで入力する

1 文字の入力をおこなう画面を表示する。

2 ◁▷を押して変更したい文字にカーソルを合わせる。

3 +10を押して文字タイプ(大文字、小文字、数字)を選び、0〜9を押して入力したい文字を選ぶ。
- 入力できる文字の種類は、次のとおりです。

1 ../	1 . @ - _ / : ～	6 MNO	m n o M N O 6
2 ABC	a b c A B C 2	7 PQRS	p q r s P Q R S 7
3 DEF	d e f D E F 3	8 TUV	t u v T U V 8
4 GHI	g h i G H I 4	9 WXYZ	w x y z W X Y Z 9
5 JKL	j k l J K L 5	0 ␣	0(スペース)! “ # $ % & ‘ ( ) ＊ + , ; < = > ? [\ ] ^ ` { ¦ }

4 手順2、3をくり返して名前を変更し、ENTERを押して入力した文字を確定する。

■ カーソルボタンで入力する

1 文字の入力をおこなう画面を表示する。

2 ◁▷を押して、変更したい文字にカーソルを合わせる。

3 △▽を押して、文字を変更する。
- 入力できる文字の種類は、次のとおりです。

【英小文字】
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
【英大文字】
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
【記号】 ! “ # $ % & ‘ ( ) ＊ + , - . / : ; < = > ? @ [\ ] ^ _ ` { ¦ } ~
【数字】 0123456789 (空白)

- 文字を削除する場合はCLEARを押してください。
- スペースを入れる場合は ►►I を押してください。

4 手順2、3をくり返して名前を変更し、ENTERを押して入力した文字を確定する。

一般

その他の設定をします。

オーディオ出力

アナログ音声出力の音量を“固定出力”にするか、“可変出力”にするかを設定します。

固定出力（お買い上げ時の設定）:	アナログ音声出力の音量を固定（0dB）に設定します。
可変出力:	リモコンの VOLUME ▲▼ ボタンを押してアナログ音声出力の音量調節ができます。

- アナログ音声出力の音量を調節するには、リモコンの設定をおこなってください。(☞91 ページ)
- アナログ音声出力の音量を調節すると、ヘッドホンの音量も変化します。ヘッドホンをご使用になるときは、ヘッドホン音量調節つまみ（LEVEL）とあわせて適切に調節してください。
- “可変出力”を選択した場合、---dB（最小）、-99dB～0dB の範囲で音量調節ができます（お買い上げ時の設定：-40dB）。

ご注意

- アナログ音声出力の設定を“可変出力”から“固定出力”に変更すると、音量は最大（0dB）になりますのでご注意ください。
- 設定変更時は、アナログ音声出力端子（AUDIO OUT）に接続しているアンプの音量や本機のヘッドホン音量を最小にしてください。

音量の上限

アナログ音声出力を可変にした場合の音量の上限を設定します。

0dB:	アナログ音声出力の音量の上限を 0dB に設定します。
-10dB（お買い上げ時の設定）:	アナログ音声出力の音量の上限を-10dB に設定します。
-20dB:	アナログ音声出力の音量の上限を-20dB に設定します。

メニューの“オーディオ出力”の設定が“可変出力”のときに設定できます。

言語

ディスプレイに表示する言語を選択します。

日本語 / English（お買い上げ時の設定：日本語）

オートスタンバイ

“オートスタンバイ”を“オン”に設定し、停止状態で設定した時間内に操作しない状態が続くと、本機は自動的にスタンバイ状態になります。

入力ソースがチューナーおよび“Direct iPod”の場合は、本機を約 8 時間操作しない状態が続くと本機は自動的にスタンバイ状態になります。

オン： **1min / 5min /** **15min / その他：**	“その他”を選択した場合、1～99 分の間で“オートスタンバイ”の時間を設定できます。△▽ で値を選択し、その後 ENTER を押して設定を確定します。
オフ （お買い上げ時の設定）：	自動的にスタンバイ状態になりません。

使用状況の送信設定

当社は今後の製品の改善のために、本機の設定状況や機能の使用状況に関する情報の送信をお願いしております。お客様から送信される情報は今後の製品開発の参考にさせていただきます。

送信される情報は個人を特定する情報は含まれません。この情報は、当社の製品改善の目的のためにのみ利用させていただき、第三者へ提供することは決して致しません。

はい:	本機の使用状況を情報提供します。
いいえ:	本機の使用状況を情報提供しません。

ファームウェア

ファームウェアの最新アップデート情報の確認や更新の実施、およびアップデート、アップグレードやお知らせの通知メッセージを表示するかしないかの設定をします。

■ アップデート

本機のファームウェアをアップデートします。

アップデートの確認:	ファームウェアが最新かどうかの確認ができます。
アップデート開始:	アップデートを実行します。

アップデートに失敗しても、本機は自動的にアップデートを再試行します。

■ お知らせ機能

最新のファームウェアが利用可能であるときや、その他のお知らせがある場合に、パワーオン時に画面に表示します。

アップデート

オン(お買い上げ時の設定):	アップデートの通知を表示します。
オフ:	アップデートの通知を表示しません。

アップグレード

オン(お買い上げ時の設定):	アップグレードの通知を表示します。
オフ:	アップグレードの通知を表示しません。

その他のお知らせ

オン(お買い上げ時の設定):	当社からのお知らせを表示します。
オフ:	当社からのお知らせを表示しません。

■ 新機能の追加

本機にダウンロード可能な新機能を表示し、アップグレードします。

アップグレードパッケージ:	アップグレードする項目を表示します。
アップグレード状態:	アップグレードによって追加された機能の一覧を表示します。
アップグレード開始:	アップグレードを実行します。アップグレードを開始すると、メニュー画面をシャットダウンします。アップグレード中は、ディスプレイに経過時間を表示します。
アップグレードID:	お手続きの際に必要なる ID 番号を表示します。

- アップグレードをご利用になる場合の詳細については、当社ホームページをご覧ください。
- お手続きが完了すると、このメニューに“登録済”と表示され、アップグレードすることができます。お手続きされていない場合は、“未登録”を表示します。

“アップデート”および“新機能の追加”をおこなったときのご注意
• これらの機能を使用するためには、インターネットブロードバンドに接続できる環境と設定が必要です。(☞28 ページ) • 新機能の追加の操作は本機の電源をオンにして 2 分以上経過してからおこなってください。 • アップデートやアップグレードが終わるまで、絶対に電源を切らないでください。 • アップデートやアップグレードが完了するまでに、ブロードバンド接続でも 20 分程度の時間がかかります。 • 一旦アップデートやアップグレードを開始すると、本機は完了するまで通常の操作ができなくなります。本機に設定したパラメーターなどのバックアップデータを初期化する場合があります。 • アップグレードが失敗した場合には、“Update failed”や“Download failed”などをディスプレイに表示します。電源コードを挿し直してください。ディスプレイに“Update Retry”を表示し、失敗したところから更新を再開します。それでも失敗が続く場合は、ネットワークの環境を確認してください。

“アップデート”および“新機能の追加”に関する情報は、当社ホームページなどで告知する予定です。

ネットワーク

本機をホームネットワーク(LAN)に接続して使用できるようにするためには、ネットワークの設定をおこなう必要があります。
DHCP でホームネットワークを構築している場合は、“DHCP”を“オン”に設定します(お買い上げ時の設定のまま使用してください)。これにより、ホームネットワークを使用できるようになります。
各機器に IP アドレスを割り当てている場合は、“IP アドレス”の設定で本機に IP アドレスを割り当て、ゲートウェイアドレスやサブネットマスクなど、ご使用のホームネットワークに関する情報を入力する必要があります。

ネットワーク情報

ネットワークの情報を表示します。

フレンドリ名 / DHCP / IP アドレス / MAC アドレス / SSID*

* Wi-Fi 接続しているときのみ表示します。

ネットワーク制御

電源がスタンバイ状態でのネットワーク機能の設定をします。

オン (お買い上げ時の設定):	スタンバイ時にネットワーク機能を使用できます。ネットワーク対応のコントローラーを使用して本機を操作できます。
オフ:	スタンバイ時はネットワーク機能を使用できません。

ウェブコントロール機能、ネットワーク対応のコントローラーをご使用になる場合や Bluetooth を電源がオフの状態からすばやく使いたい場合は、“ネットワーク制御”の設定を“オン”にしてください。

ご注意

“ネットワーク制御”を“オン”に設定している場合は、スタンバイ時の待機電力を多く消費します。

フレンドリ名

フレンドリ名とは、ネットワーク上に表示される本機の名称です。
フレンドリ名はお好みで変更できます。

■ フレンドリ名

ENTER を押すと、お好みのフレンドリ名に変更できます。

- 最大 63 文字まで編集できます。
- 文字の入力方法は、「文字入力について」(☞76 ページ)をご覧ください。
- お買い上げ時のフレンドリ名は、“Marantz NA6005”です。

■ 初期状態

編集したフレンドリ名をお買い上げ時の設定に戻します。

接続の設定

ネットワークの詳細設定をおこないます。
ネットワーク環境を変更する場合は、“かんたん設定”をおこなってください。(操作方法については、別冊の「かんたんスタートガイド」をご覧ください。)

- ブロードバンドルータ(DHCP 機能)をご使用の場合は、本機のお買い上げ時の設定で DHCP 機能が“オン”になっていますので、“IP アドレス”と“プロキシ”の設定は必要ありません。
- “接続の設定”は、DHCP 機能のないネットワークに接続する場合のみ設定してください。

■ 有線 LAN を設定

❑ DHCP

ネットワークへの接続方法を選択します。

オン(お買い上げ時の設定):	ご使用のルータから自動的にネットワーク設定をおこないます。
オフ:	手動でネットワークの設定をします。

❑ IP アドレス

入力する IP アドレスは下記の範囲で設定してください。

- 下記以外の IP アドレスではネットワークオーディオ機能を使用することはできません。
  CLASS A: 10.0.0.1～10.255.255.254
  CLASS B: 172.16.0.1～172.31.255.254
  CLASS C: 192.168.0.1～192.168.255.254

❑ サブネットマスク

xDSL モデムやターミナルアダプターを直接本機に接続している場合は、プロバイダから書面などで通知されたサブネットマスクを入力します。通常は 255.255.255.0 を入力します。

❑ ゲートウェイ

ゲートウェイ（ルータ）に接続している場合は、その IP アドレスを入力します。

❑ プライマリー DNS、セカンダリー DNS

プロバイダから書面などで通知された DNS アドレスが 1 つの場合は、“プライマリー DNS”に入力してください。2 つ以上の場合は、1 つを“セカンダリー DNS”に入力してください。

❑ プロキシ

インターネットにプロキシサーバーを経由して接続する場合に設定します。
プロキシの設定は、契約しているプロバイダや社内のネットワークなどプロキシサーバーを経由してインターネットに接続している場合のみおこなってください。

プロキシ（オフ）または**プロキシ（オン）**:	プロキシサーバーを設定します。
プロキシ（アドレス）または**プロキシ（ネーム）**:	アドレスかドメイン名で入力するときに選択します。
アドレス または**ネーム**:	アドレスかドメイン名を入力します。最大 38 文字まで入力できます。
ポート:	ポート番号を入力します。

- インターネットに接続できない場合は、再度接続や設定を確認してください。（☞28 ページ）
- インターネットの接続についてわからない場合は、ISP（インターネット・サービスプロバイダ）またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。

■ Wi-Fi の設定方法

ここでは、次の 5 つの接続方法で Wi-Fi の設定ができます。

自動検索 /iOS 機器の Wi-Fi 設定を共有 / WPS (Wi-Fi Protected Setup) / WEB ブラウザ設定 / 手動設定

- LAN ケーブルを接続している場合は、LAN ケーブルを外してください。
- リアパネルの Wi-Fi CONNECT ボタンを使用した接続方法については、別冊の「かんたんスタートガイド」をご覧ください。

❑ 自動検索

ネットワークを自動検索します。

1 **リストから、接続したいネットワークを選ぶ。**

- 見つからない場合は“再検索する”を選択してください。

2 **下記の設定をおこなう。**

WEP 固定値 Key:	デフォルトキーを選択します。 • “WEP 固定値 Key”は、WEP で暗号化されているネットワークに接続する場合に表示します。
パスワード:	パスワードを入力します。
DHCP/プロキシ:	DHCP やプロキシの設定をします。(☞84、85 ページ)
接続を開始:	接続のテストをおこないます。

❑ iOS 機器の Wi-Fi 設定を共有

iPhone や iPad などの iOS 機器を使用して Wi-Fi 設定をおこなうことができます。
この項目を選択後、iOS 機器のホーム画面から設定/Wi-Fi を選択し、画面下に表示される“Marantz NA6005”を選択したあと、iOS 機器の表示にしたがって設定をおこなってください。
詳しくは別冊の「かんたんスタートガイド」を参照ください。

iOS のバージョンが 7 以降である必要があります。

❑ WPS (Wi-Fi Protected Setup)

1 本機の PIN コードをルータに登録する。

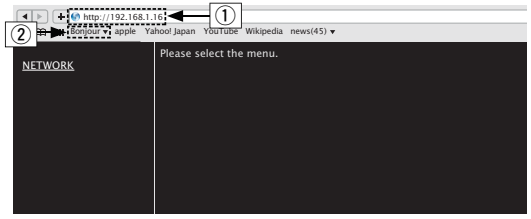
❑ WEB ブラウザ設定

ウェブブラウザを使用して Wi-Fi 設定をおこないます。
ウェブの閲覧が可能な Wi-Fi 機器が必要です。

1 画面に表示される注意文を確認し、ENTER を押す。

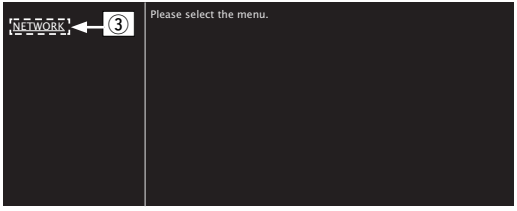
2 Wi-Fi 機器の Wi-Fi ネットワーク一覧から、“Marantz NA6005”を選ぶ。
本機に IP アドレス(192.168.1.16)を表示します。

3 ブラウザのアドレスボックスに、本機の IP アドレスを入力する。



① IP アドレス(192.168.1.16)を入力します。
② Safari ブラウザをご使用になる場合は、“Bonjour”を選択するとウェブコントロール画面に直接アクセスできます。

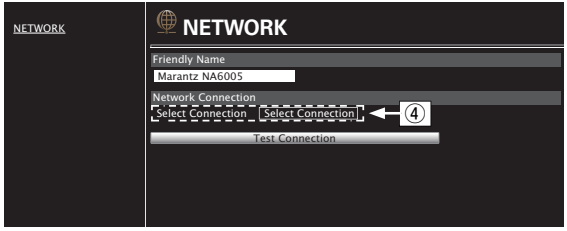
4 トップメニューが表示されたら、“NETWORK”をクリックする。



③ “NETWORK”をクリックします。
(☞【例 1】)

5 操作する。

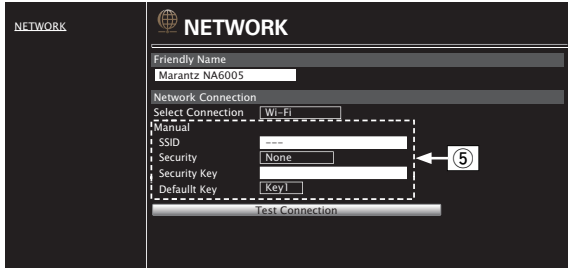
【例 1】ネットワーク設定 1



❑ ネットワーク接続設定

④ 接続方法を選択するときにクリックします。“Wi-Fi” を選択すると新たな項目を画面に表示します。（☞【例 2】）

【例 2】ネットワーク設定 2



❑ ネットワーク接続設定

⑤【例 2】−④ で “Wi-Fi” を選択したときに表示します。各項目を選択または入力した後、“Test Connection” をクリックして設定を反映してください。

- 選択項目や接続状態により表示される項目が変わります。
- 各項目を選択したあとは、表示が更新されるまでしばらくお待ちください。

ネットワーク接続の設定を反映させるためには、最後に “Test Connection” をクリックしてください。

❑ 手動設定

ネットワークを手動で接続します。

SSID:	無線ネットワーク名(SSID)を入力します。
セキュリティ:	ご使用のアクセスポイントの暗号化設定に合わせて、暗号化方式を選択します。
WEP 固定値 Key:	WEP 固定値 Key を選択します。 • “WEP 固定値 Key”は、“WEP”で暗号化されているネットワークに接続する場合に表示します。
パスワード:	パスワードを入力します。
DHCP/プロキシ:	DHCP やプロキシの設定をします。(☞84、85 ページ)
接続を開始:	接続のテストをおこないます。

音量調節ボタンのリモコンコードを設定する

リモコンの VOLUME ▲▼ ボタンのリモコンコードを“可変出力”に設定すると、リモコンで本機のアナログ音声出力の音量を調節できます。
リモコンコードを設定したあと、必ずそれぞれの機器の動作を確認してください。

アンプ（お買い上げ時の設定）:	マランツ製アンプの音量を調節します。
可変出力:	本機のアナログ音声出力の音量を調節します。

リモコンコードを“可変出力”に設定する

1 **ENTER と数字ボタンの 1 を同時に 5 秒以上押す。**

ご注意

リモコンで本機のアナログ音声出力の音量を調節するには、メニューの“オーディオ出力”設定も“可変出力”に設定してください。
(☞78 ページ)

リモコンコードを“アンプ”に設定する

1 **ENTER と数字ボタンの 2 を同時に 5 秒以上押す。**

ご注意

リモコンから乾電池を取り外すとお買い上げ時の設定に戻ります。乾電池を交換した場合は、リモコンコードを再設定してください。

困ったときは

目次

■ こんなときの解決方法

アナログオーディオ再生を高音質で楽しみたい 93
現在再生している iPod の曲情報(曲名など)を本体のディスプレイに表示させたい 93
電源オフ状態から簡単に操作する 93
iPod の充電だけをしたい 93
ネットワーク環境の切り替えや再設定をする 93

■ 故障かな？と思ったら

電源が入らない/電源が切れる 94
LED が点滅している 94
リモコンで操作ができない 95
本機のディスプレイが表示されない 95
音がまったく出ない 96
音が途切れたり、ノイズが入ったりする 96
iPod が再生できない 97
USB メモリーが再生できない 98
iPod や USB メモリー内のファイル名が正しく表示されない 99
インターネットラジオが再生できない 99
パソコン内や NAS 内の音楽ファイルが再生できない 100
デジタル機器の音声を再生できない(Optical) 101
Wi-Fi 接続ができない 102
Bluetooth 機器の再生ができない 103

こんなときの解決方法

アナログオーディオ再生を高音質で楽しみたい

- リモコンの DIG. OUT ボタンを押して、デジタル音声出力をオフにしてください。(☞37 ページ)
- DIMMER ボタンを押して、ディスプレイの明るさを消灯にしてください。(☞37 ページ)

現在再生している iPod の曲情報(曲名など)を本体のディスプレイに表示させたい

- MODE ボタンを押して、表示モードを Remote iPod モードに設定してください。(☞53 ページ)

電源オフ状態から簡単に操作する

- ► ボタンまたは ►/❚❚ ボタンを押すと、自動的に本機の電源が入り、最後に選択していた入力ソースの再生をはじめます。
- “ネットワーク制御”の設定を“オン”にすると、AirPlay や Marantz “Hi-Fi Remote” App(マランツ·ハイファイ·リモート·アプリ)から起動と同時に再生操作ができます。(☞83 ページ)

iPod の充電だけをしたい

- 本機の電源を入れて、iPod を接続してください。その後電源が切れても満充電になるまで iPod の充電をおこないます。(☞54 ページ)

ネットワーク環境の切り替えや再設定をする

- 別冊の「かんたんスタートガイド」を用意し、設定メニューの“かんたん設定”をおこなってください。詳細な設定は、設定メニューの “ネットワーク” - “詳細な設定”でおこなってください。(☞84 ページ)

故障かな？と思ったら

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 接続した機器は正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

■ 電源が入らない / 電源が切れる

症状	原因 / 対策	関連ページ
電源が入らない。	• コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。	33
	• スタンバイモードになっています。本体の ⏻ ボタンを押すかリモコンの POWER ⏻ ボタンを押してください。	35
電源が自動的に切れる。	• スリープタイマーが設定されています。再度電源を入れてください。	37
	• オートスタンバイが設定されています。操作がない状態で一定時間が経過すると、“オートスタンバイ”が動作します。“オートスタンバイ”を無効にするには、設定メニューの“オートスタンバイ”を“オフ”に設定してください。	79

■ LED が点滅している

症状	原因 / 対策	関連ページ
赤色に点滅している。	• 本機の回路が故障しています。電源を切り、当社の修理相談窓口までご連絡ください。	−

■ リモコンで操作ができない

症状	原因 / 対策	関連ページ
リモコンで操作ができない。	• 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。	8
	• リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。	9
	• 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。	−
	• 乾電池の ⊕ と ⊖ を正しくセットしてください。	8
	• 本機のリモコン受光部に強い光（直射日光、インバーター式蛍光灯の光など）が当たっています。受光部に強い光が当たらない場所に設置してください。	−
	• 3D 映像機器をご使用の場合、各ユニット間（テレビや 3D 視聴用メガネなど）の無線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。	−
	• リアパネルの EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“INTERNAL”に切り替えてください。	32

■ 本機のディスプレイが表示されない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ディスプレイの表示が消える。	• DIMMER ボタンを押して、消灯以外の設定に切り替えてください。	37

■ 音がまったく出ない

症状	原因 / 対策	関連ページ
音が出ない。または歪む。	• すべての機器の接続を確認してください。	20
	• 接続ケーブルを奥まで挿してください。	–
	• 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。	–
	• ケーブルが破損していないか確認してください。	–
	• アンプの設定を確認し、適切に調節してください。	–

■ 音が途切れたり、ノイズが入ったりする

症状	原因 / 対策	関連ページ
インターネットラジオや USB メモリーを再生中に、音が途切れることがある。	• USB メモリーの転送速度が遅いと音が途切れることがあります。	–
	• ネットワークの通信速度が遅いか、ラジオ局が混雑しています。	–
iPhone で通話すると、本機の音声出力にノイズが入る。	• iPhone を本機から 20cm 以上離して通話してください。	–
Wi-Fi 接続時に音切れがする。	• 周りの電波妨害により再生が途切れたりした場合には、有線 LAN 接続に切り替えてください。	84
	• 特にデータ容量の大きい音楽ファイルを再生するときなどに、ご使用の無線 LAN の環境によっては、再生音が途切れることがあります。その場合は有線 LAN 接続をおこなってください。	84
FM/AM 放送で雑音が多い。	• アンテナの向きや位置を変えてください。	26
	• 屋外アンテナを使用してください。	26
	• AM 用ループアンテナと本機を離してください。	26
	• アンテナと他の接続ケーブルを離してください。	26

■ iPod が再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
iPod が接続できない。	• USB 端子に iPod を接続してご使用になる場合、対応していない iPod があります。	25
	• iPod の接続に純正以外の USB ケーブルをご使用になると、iPod を認識できない場合があります。純正の USB ケーブルを使用してください。	−
iPhone/iPod touch/iPad 上に AirPlay のアイコン が表示されない。	• 本機とパソコン/iPhone/iPod touch/iPad が同一のネットワーク(LAN)に接続されていません。本機と同一の LAN に接続してください。	28
	• iTunes/iPhone/iPod touch/iPad が AirPlay 対応のファームウェアではありません。最新のファームウェアにアップデートしてください。	−
音が出ない。	• AirPlay の再生をしていないか、本機が選択されていません。iTunes/iPhone/iPod touch/iPad の画面で AirPlay アイコン をクリックして、本機を選択してください。	61
iPhone/iPod touch/iPad で AirPlay 再生時に音が途切れる。	• iPhone/iPod touch/iPad のバックグラウンドで起動しているアプリケーションを終了してから AirPlay 再生をしてください。	−
	• Wi-Fi 接続で外部の影響を受けている可能性があります。無線 LAN のアクセスポイントからの距離を短くするなどネットワーク環境を変更してください。	−

■ USB メモリーが再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
“接続していません”と表示される。	• 接続不良などで、本機が USB メモリーを認識できない場合があります。USB メモリーを接続し直すなど、接続を確認してください。	24
	• マスストレージクラスまたは MTP 対応の USB メモリーに対応しています。	−
	• USB ハブを経由した接続はできません。USB メモリーは USB 端子に直接接続してください。	−
	• USB メモリーのフォーマットを FAT16 または FAT32 に設定してください。	−
	• すべての USB メモリーの動作は保証できません。一部の USB メモリーは、認識できない場合があります。また、AC アダプターから電源供給できるタイプの USB 接続対応ポータブルハードディスクをご使用になる場合は、ハードディスクに AC アダプターを接続して使用してください。	−
USB メモリー内のファイルを表示しない。	• 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。	55
	• 本機が表示できるファイル構成は最大 8 階層、1 フォルダあたりのサブフォルダとファイルの合計は最大 5000 個です。USB メモリーのフォルダ構成を変更してください。	−
	• USB メモリーに複数のパーティーションがある場合、先頭のパーティーションのファイルのみを表示します。	−
USB メモリー内のファイルを再生できない。	• 本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。	55
	• 本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。	−

■ iPod や USB メモリー内のファイル名が正しく表示されない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ファイル名が “…” など、正しく表示されない。	• 本機で表示できない文字は、“.”（ピリオド）に置き換えて表示します。	–

■ インターネットラジオが再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ラジオ局のリストが表示されない。	• LAN ケーブルが正しく接続されていないか、ネットワークが切断されています。接続状態を確認してください。	28
インターネットラジオが再生できない。	• 選択したラジオ局が、本機に対応していないフォーマットで放送されています。本機で再生できるフォーマットは、MP3、WMA と AAC です。	39
	• ルータのファイアウォールがはたらいています。ファイアウォールの設定を確認してください。	–
	• ルータの電源が入っているか確認してください。	–
	• IP アドレスが正しく設定されていません。IP アドレスを自動で取得する場合は、ルータの DHCP サーバ機能を有効にしてください。また、本機の DHCP 設定を “オン” にしてください。	84
	• IP アドレスを手動で取得する場合は、本機の IP アドレス、プロキシを設定してください。	84
	• 時間帯により無音放送になっているラジオ局があります。この場合、音声は出力しません。しばらく経ってから選択するか、別のラジオ局を選択してください。	39
お気に入りに登録したラジオ局に接続できない。	• ラジオ局がサービスを停止しています。放送中のラジオ局を登録してください。	–
“接続が途切れました” と表示され、接続できないラジオ局がある。	• ラジオ局が放送を停止しています。放送中のラジオ局を選択してください。	–

■ パソコン内や NAS 内の音楽ファイルが再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
パソコンに保存してある音楽ファイルが再生できない。	• ファイルが対応しているフォーマット以外で記録されています。対応しているフォーマットで記録してください。	110
	• 本機では、著作権保護のかかったファイルを再生できません。	−
	• メディアの共有設定が正しくありません。本機がパソコンのフォルダにアクセスできるようにメディアの共有設定を変更してください。	43
サーバーが見つからないか、サーバーに接続できない。	• パソコンまたはルータのファイアウォールがはたらいています。接続しているパソコンまたはルータのファイアウォールの設定を確認してください。	−
	• パソコンの電源が入っていません。電源を入れてください。	−
	• サーバーが起動していません。サーバーを起動してください。	−
	• 本機の IP アドレスが正しくありません。本機の IP アドレスを確認してください。	66
パソコン内や NAS 内のファイルが表示されない。	• 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。	110
NAS に保存した曲が再生できない。	• DLNA 準拠の NAS をご使用の場合は、NAS の設定で DLNA サーバー機能を有効にしてください。	−
	• DLNA に準拠していない NAS をご使用の場合は、パソコンを経由して再生してください。Windows Media Player のメディア共有機能設定をおこない、再生対象フォルダに NAS を追加してください。	43
	• 接続を制限している場合は、オーディオ機器を接続対象にしてください。	−

■ デジタル機器の音声を再生できない(Optical)

症状	原因 / 対策	関連ページ
“入力無し”と表示される。	• デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“入力無し”を表示します。	72
“非対応です”と表示される。	• 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“非対応です”を表示します。ご使用のデジタル機器の音声出力信号フォーマットを確認してください。	72

■ Wi-Fi 接続ができない

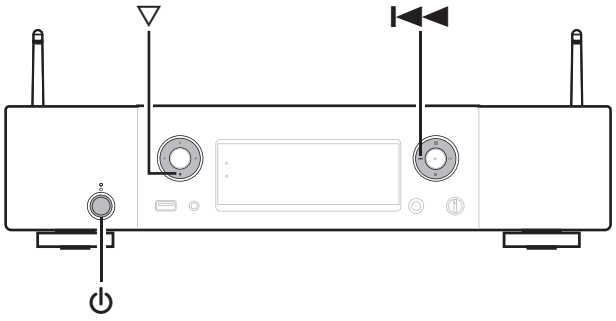
症状	原因 / 対策	関連ページ
ネットワークに接続できない。	• ネットワーク名およびパスワード(WEP など)の設定が正しくない。ネットワークの設定と、本機の設定内容を合わせてください。	89
	• 無線 LAN のアクセスポイントからの距離を短くしたり、障害物をなくしたりして、見通しを良くしてから接続し直してください。また、電子レンジや他のネットワークのアクセスポイントから離して設置してください。	−
	• ルータの電源を確認してください。	−
	• 本機は IEEE 802.11b/g/n に対応しています。	−
	• アクセスポイントのチャンネル設定を、他のネットワークで使用しているチャンネルから離して設定してください。	−
	• 本機は WEP(TSN)との互換性はありません。	−
WPS 接続ができない。	• ルータの WPS モードが動作しているか確認してください。	−
	• ルータの操作後、2 分以内に本機の Wi-Fi CONNECT WPS ボタンを約 3 秒間長押ししてください。	−
	• WPS2.0 規格に対応したルータ/設定が必要です。暗号化タイプを“なし”、“WPA-PSK(AES)”または“WPA2-PSK(AES)”に設定してください。	84
	• ルータの暗号化方式が WEP/WPA-TKIP/WPA2-TKIP のいずれかの場合は、Wi-Fi CONNECT/WPS ボタンを使用して接続することはできません。この場合は“自動検索”または“手動設定”の方法で接続してください。	73
iPhone/iPod touch/iPad を使用したネットワーク接続ができない。	• iPhone/iPod touch/iPad を最新のファームウェアにアップデートしてください。	−
	• USB ケーブルを使用して設定する場合は、iOS 機器のファームウェアのバージョンが iOS 5 以降に対応している必要があります。また、無線接続で設定する場合は、iOS 7 以降に対応している必要があります。	−

■ Bluetooth が再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
本機に Bluetooth 機器が接続できない。	• Bluetooth 機器の Bluetooth 機能が有効になっていません。Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧いただき、Bluetooth 機能を有効にしてください。	−
	• 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。	−
	• Bluetooth 機器が A2DP プロファイルに対応していない場合、本機と接続できません。	−
	• ご使用の Bluetooth 機器の電源を入れ直してから、お試しください。	−
	• “ネットワーク制御”を“オン”にして再度接続をおこなってください。	83
音が途切れる。	• 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。	−
	• 本機と Bluetooth 機器の間にある障害物を取り除いてください。	−
	• 電波干渉がおきないように、電子レンジや無線 LAN 機器および他の Bluetooth 機器から本機を離してください。	−
	• Bluetooth の再接続操作をおこなってください。	−

お買い上げ時の設定に戻す

表示が正しくない場合や操作ができない場合などにおこないます。
各種設定内容がお買い上げ時の設定になります。再度設定をおこなってください。



1 本機をスタンバイ状態にする。

2 ▽と ⏮ を同時に押しながら、⏻ を押す。
ディスプレイに“Initialized”を表示します。

手順 2 で“Initialized”を表示しない場合は、もう一度手順 1 からやり直してください。

ご注意

オーディオ出力は、お買い上げ時の設定に戻りません。
設定の変更は、メニューの“オーディオ出力”でおこなってください。
(☞78 ページ)

保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。
  保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間はご購入日から 1 年間です。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料‥‥故障した製品を正常に修復するための料金です。
  技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代‥‥修理に使用した部品代金です。
  その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料‥‥製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
  別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 持ち込み修理対象製品の出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくことになりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名・・・・・取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号・・・保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

付録

USB メモリーの再生について

- MP3 ID3 タグ(バージョン 2.0)に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。
- アルバムアートの画素サイズが 600kB を超えている場合は、正しく再生できないことがあります。

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	ビット数	拡張子
WMA*1	32/44.1/48kHz	48~192 kbps	–	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	32~320 kbps	–	.mp3
WAV	32/44.1/48/ 88.2/96/176.4/ 192kHz	–	16/24 ビット	.wav
MPEG-4 AAC*1	32/44.1/48kHz	16~320 kbps	–	.aac/ .m4a/ .mp4
FLAC	32/44.1/48/ 88.2/96/176.4/ 192kHz	–	16/24 ビット	.flac
ALAC*2	32/44.1/48/ 88.2/96kHz	–	16/24 ビット	.m4a
AIFF	32/44.1/48/ 88.2/96/176.4/ 192 kHz	–	16/24 ビット	.aif/ .aiff
DSD (2 チャンネル)	2.8/5.6 MHz	–	–	.dsf/ .dff

*1 著作権保護のないファイルのみ再生できます。
インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

*2 Copyright [2012] [D&M Holdings. Inc.]Apache License Version 2.0(「本ライセンス」)に基づいてライセンスされます。このファイルを使用するためには、本ライセンスに従わなければなりません。本ライセンスのコピーは下記の URL から入手できます。
http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

ご注意

サンプリング周波数が 32kHz の信号と DSD 信号は、本機のデジタルオーディオ出力端子から出力しません。

■ 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

本機で表示できるフォルダやファイルの制限数は次のとおりです。

項目＼メディア	USB メモリー
メモリーの容量	FAT16 : 2GB、FAT32 : 2TB
フォルダの階層数 *1	8 階層
フォルダ数	500
ファイル数 *2	5000

*1　制限数にはルートフォルダを含みます。

*2　USB メモリーの容量やファイルサイズにより、許容ファイル数が変わる場合があります。

D/A コンバーターについて

■ 対応する音声フォーマット

❑ Optical

	サンプリング周波数	ビット長
リニア PCM (2 チャンネル)	32/44.1/48/64/88.2/96/176.4/192kHz	16/24 ビット

インターネットラジオ局の再生について

■ 再生できる放送局の仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA	32/44.1/48 kHz	48～192 kbps	.wma
MP3	32/44.1/48 kHz	32～320 kbps	.mp3
MPEG-4 AAC	32/44.1/48 kHz	16～320 kbps	.aac/ .m4a/ .mp4

パソコンやNASに保存されているファイルを再生する

- MP3 ID3 タグ(バージョン 2.0)に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。
- アルバムアートの画素サイズが 600kB を超えている場合は、正しく再生できないことがあります。
- ネットワーク経由での音楽ファイルの再生には、そのフォーマットの配信に対応したサーバーまたはサーバーソフトウェアが必要です。

特にデータ容量の大きい音楽ファイルを再生するときなどに、ご使用の無線 LAN の環境によっては、再生音が途切れることがあります。その場合は有線 LAN 接続をおこなってください。

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	ビット数	拡張子
WMA*1	32/44.1/48kHz	48～192 kbps	–	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	32～320 kbps	–	.mp3
WAV	32/44.1/48/ 88.2/96/176.4/ 192kHz	–	16/24 ビット	.wav
MPEG-4 AAC*1	32/44.1/48kHz	16～320 kbps	–	.aac/ .m4a/ .mp4
FLAC	32/44.1/48/ 88.2/96/176.4/ 192kHz	–	16/24 ビット	.flac
ALAC*2	32/44.1/48/ 88.2/96kHz	–	16/24 ビット	.m4a
AIFF	32/44.1/48/ 88.2/96/176.4/ 192 kHz	–	16/24 ビット	.aif/ .aiff
DSD (2 チャンネル)	2.8/5.6 MHz	–	–	.dsf/ .dff

*1 著作権保護のないファイルのみ再生できます。
インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

*2 Copyright [2012] [D&M Holdings. Inc.]Apache License Version 2.0(「本ライセンス」)に基づいてライセンスされます。このファイルを使用するためには、本ライセンスに従わなければなりません。本ライセンスのコピーは下記の URL から入手できます。
http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

ご注意

サンプリング周波数が 32kHz の信号と DSD 信号は、本機のデジタルオーディオ出力端子から出力しません。

Bluethooth機器の再生について

本機は、次の Bluetooth プロファイルに対応しています。

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)：
  この規格に対応している Bluetooth 機器を接続すると、モノラルやステレオの音声データを高品質にストリーミング配信することができます。
- AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)：
  この規格に対応している Bluetooth 機器を接続すると、本機から Bluetooth 機器を操作することができます。

Bluetooth 通信について

本機からの電波放送は、医療機器の操作を妨げることがあります。
電波干渉は故障の原因となるため、次の場所では本機と
Bluethooth 機器の電源を必ず切ってください。

- 病院、電車、航空機、ガソリンスタンドや可燃性ガスを発生する場所。
- 自動ドアや火災報知機の近く。

ラストファンクションメモリー

スタンバイにする直前の各種設定を記憶します。
再び電源を入れると、スタンバイにする直前の設定になります。

用語の解説

■ 音声

ALAC(Apple Lossless Audio Codec)

アップル社が開発した音声データ可逆圧縮方式のコーデックです。iTunes や iPhone、iPod で再生できます。約 60～70%に圧縮されたデータを完全に元どおりのデータに再現します。

AIFF(Audio Interchange File Format)

非圧縮ロスレス方式のデジタル音声ファイルフォーマットです。AIFF ファイルは、読み込んだ曲から高音質オーディオ CD を作成する場合に使用します。AIFF ファイルは、1 分あたり約 10MB のディスク領域を使用します。

DSD (Direct-Stream Digital)

音声データ記録方式の 1 つで、スーパーオーディオ CD にオーディオ信号を格納する信号形態で、Δ-Σ 変調されたデジタルオーディオです。2.8224 MHz のサンプリングレートの単一ビット値の配列で構成されています。

FLAC

可逆圧縮方式のフリーの音声ファイルフォーマットです。可逆圧縮のため、原音からの音質の劣化がありません。
FLAC のライセンスについては、次のとおりです。

Copyright (C) 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006,2007, 2008, 2009 Josh Coalson
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MP3(MPEG Audio Layer-3)

音声データ圧縮方式の 1 つで、国際的な標準規格です。映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽 CD 並の音質を保ったままデータ量を約 1/11 に圧縮できます。

MPEG(Moving Picture Experts Group)、MPEG-2、MPEG-4

デジタル圧縮形式として映像や音声を符号化するために使用される規格群の名前です。ビデオの規格には、「MPEG-1 Video」、「MPEG-2Video」、「MPEG-4 Visual」、「MPEG-4 AVC」などがあります。音声の規格には、「MPEG-1 Audio」、「MPEG-2Audio」、「MPEG-4 AAC」などがあります。

WMA(Windows Media Audio)

米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。
WMA データは、Windows Media® Player を使用してエンコード(符号化)することができます。WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正しく動作しないことがあります。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

ビットレート（Bit rate）

記録された映像/音声データを 1 秒あたりに何ビットのデータに処理したかを表します。この数値が大きいほど音質は向上しますが、ファイルサイズは大きくなります。

■ ネットワーク

AirPlay

iTunes または iPhone、iPod touch、iPad に収録されているコンテンツをネットワーク経由で対応する機器に転送（再生）する機能です。

DLNA

DLNA および DLNA CERTIFIED は、Digital Living Network Alliance（デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス）の商標/ サービスマークです。コンテンツには DLNA CERTIFIED® 製品と適合しないものがある可能性があります。

vTuner

インターネットラジオの無料オンラインコンテンツサービスです。
本サービスに関するお問い合わせは、下記 vTuner のサイトまでお願い致します。
vTuner ホームページ：
http://www.radiomarantz.com
本製品は、Nothing Else Matters Software and BridgeCo の知的財産権により保護されています。当該技術の本製品以外での使用または配布は、Nothing Else MattersSoftwareandBridgeCo の許諾がない限り禁止されています。

Wi-Fi®

無線 LAN の互換性接続を保証する団体「Wi-FiAlliance」の相互接続性テストを合格していることを示します。

WPS（Wi-Fi Protected Setup）

無線 LAN 機器の接続とセキュリティ設定を簡単に実行するために Wi-Fi アライアンスが策定した規格です。
プッシュボタン方式と PIN（Personal identification number）コード方式の 2 種類があります。

ネットワーク名（SSID：Security Set Identifier）

無線 LAN のネットワークを構成するとき、混信やデータの盗難などを防ぐために、グループ分けをします。このグループ分けを「SSID（ネットワーク名）」でおこないます。さらにセキュリティ強化のために、WEP キーを設定し、「SSID」と WEP キーが一致しないと通信できないようになっています。一時的な簡易ネットワークを構成する場合に適しています。

■ メディアプレーヤー

iTunes

アップル社が提供しているマルチメディアプレーヤーの名称です。
音楽をはじめとしてビデオなどのコンテンツを管理・再生することができます。AAC をはじめとして WAV や MP3 など主要なファイル形式に対応しています。

Windows Media Player

マイクロソフト社が無料で提供しているメディアプレーヤーです。
Windows Media Player のバージョン 11 以降で作成されたプレイリストや WMA、DRM WMA、WAV ファイルなどが再生可能です。

■ その他

ペアリング

ペアリング（登録）とは、Bluetooth 機器と本機を接続するために必要な操作です。ペアリングすると互いの機器が認証し合うので、混線することなく接続できます。
はじめて Bluetooth 機器を接続する場合は、最初に本機と本機に接続する Bluetooth 機器をペアリングする必要があります。
本機は最大 8 台までのペアリング情報を保持します。

登録商標について

Made for iPod iPhone

AirPlay

“Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, or iPhone, may affect wireless performance. AirPlay, the AirPlay logo, iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

- iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod shuffle および iPod touch は、著作権のないコンテンツまた は法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に 複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

Bluetooth

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG、Inc.が所有する登録商標であり、D&M Holdings Inc.はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商標名は、それぞれの所有者に帰属します。

Wi Fi CERTIFIED

Wi-Fi CERTIFIED ロゴは、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
無線 LAN の互換性接続を保証する団体「Wi-Fi Alliance」の相互接続性テストを合格していることを示します。

Adobe、Adobe ロゴ、および Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他 の国における登録商標または商標です。

主な仕様

■ オーディオ部

	[PCM]	[DSD]
• アナログ出力		
チャンネル:	2 チャンネル	2 チャンネル
再生周波数範囲:	2Hz～96kHz	2Hz～100kHz
再生周波数特性:	2Hz～96kHz (サンプリング周波数:192kHz) 2Hz～20kHz (PCM サンプリング周波数:44.1kHz)	2Hz～50kHz (–3dB)
SN 比:	110dB (可聴帯域)	110dB (可聴帯域)
ダイナミックレンジ:	100dB(可聴帯域)	105dB (可聴帯域)
高調波歪率:	0.0020% (1kHz, 可聴帯域)	0.0010% (1kHz, 可聴帯域)
• 出力レベル	2.1Vrms	1.5Vrms
• H/P 出力レベル	100mW/32Ω(可変最大)	70mW/32Ω(可変最大)
• デジタル出力 光出力(角型光コネクター):	–21～–15dBm	-

■ チューナー部

	[FM]	[AM]
受信周波数帯域:	76.0MHz～90.0MHz	522kHz～1629kHz
実用感度:	1.2μV/75Ω	20μV
FM ステレオ分離度:	42dB(1kHz)	
FM S/N 比:	モノラル:70dB ステレオ:70dB	
ひずみ率:	モノラル:0.5%(1kHz) ステレオ:0.5%(1kHz)	

■ 無線 LAN 部

ネットワーク種類(無線 LAN 規格):	IEEE 802.11b 準拠 IEEE 802.11g 準拠 IEEE 802.11n 準拠 (Wi-Fi®準拠)*1
セキュリティ:	WEP 64bit, WEP 128bit WPA/WPA2-PSK(AES) WPA/WPA2-PSK(TKIP)
無線周波数:	2.4GHz
チャンネル数:	1 ～ 13ch

*1　Wi-Fi®準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「WiFi Alliance」の相互接続性テストに合格していることを示します。

■ Bluetooth 部

通信システム:	Bluetooth バージョン 2.1+EDR(Enhanced Data Rate)
送信出力	最大 2.5mW (Class2)
最大通信範囲:	見通し距離　約 10m*2
周波数帯域:	2.4GHz 帯域
変調方式:	FHSS(周波数ホッピングスペクトラム拡散)
対応プロファイル:	A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)1.2
	AVRCP(Audio Video Remote Control Profile)1.4
対応コーデック:	SBC, AAC
伝送範囲(A2DP):	20Hz～20,000Hz

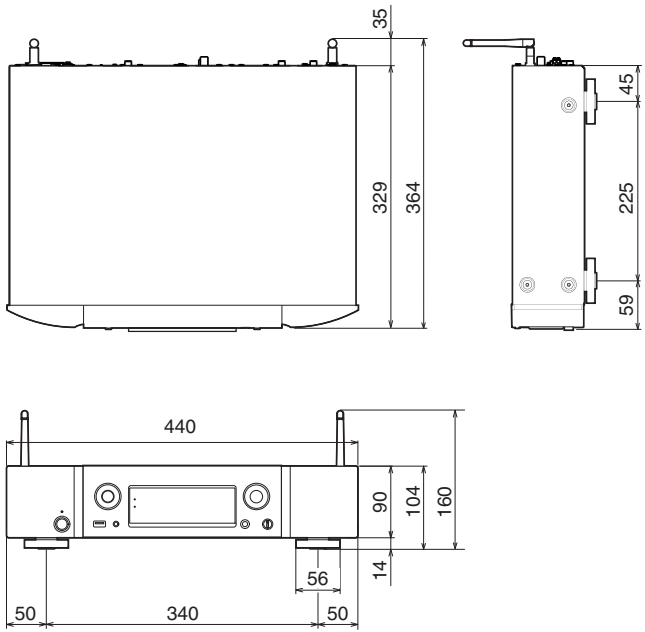
*2　実際の通信範囲は機器間の障害物、電子レンジの電磁波、静電気、コードレスフォン、受信感度、アンテナの性能、操作システム、アプリケーションソフトウェアなどの影響により異なります。

■ 総合

電源電圧/周波数:	AC100V 50/60Hz
消費電力:	35W
待機時消費電力:	0.4W
“ネットワーク制御”－“オン”時の消費電力:	4.0W

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■ 寸法(単位:mm)



■ 質量:6.0 kg

索引

☞ A

AIFF 42
AirPlay 61
ALAC 42

☞ D

D/A コンバーター機能 72
DHCP 69
DLNA 63
DSD 42

☞ F

FLAC 42
FLASHER IN 端子 31

☞ I

IP Address 66
iPod の再生 51
iPod の充電 54
iTunes 61

☞ L

LAN ケーブル 28

☞ M

MP3 38
MPEG-4 AAC 38

☞ N

NAS 42

☞ R

Remote play 機能 63

☞ U

USB メモリーの再生 55

☞ W

WAV 42
Windows Media Player 43
WMA 38

☞ あ

アップデート 70

☞ い

インターネットラジオ 38

☞ う

ウェブコントロール機能 66

☞ お

お気に入りリスト 49

☞ さ

サンプリング周波数 107

☞ す

スリープタイマー 37

☞ て

ディスプレイの明るさ 37
デジタル音声出力を停止する 37

☞ ね
ネットワーク情報 83

☞ ひ
ビットレート 107

☞ ふ
付属品 7

☞ ほ
ホームネットワーク(LAN)の接続 28

☞ み
ミュージックサーバー 42

☞ め
メニュー一覧 73

☞ も
文字入力 76

☞ ら
ランダム再生 42

☞ り
リピート再生 42
リモートコントロール接続 32

当社製品のご相談と修理についてのお問い合わせは、お買い上げ店または下記窓口にご連絡ください。

お客様相談センター

☎ 0570（666）112
FAX：044（544）3171

■ 受付時間　9：30～17：30
（当社休日および祝日を除く、月～金曜日）

■ 上記番号がご利用いただけない場合　☎ 03（3570）5138
〒 210-8569　神奈川県川崎市川崎区日進町 2 番地 1　D&M ビル

■ メールでお問い合わせをいただくこともできます。
http://marantz.jp/jp/html/contact.html

＊ 電話番号・ファックス番号・URL は変更になる場合があります。

修理相談窓口

☎ 0570（666）112

■ 受付時間　9：30～12：00 、13：00～17：30
（当社休日および祝日を除く、月～金曜日）

■ 上記番号がご利用いただけない場合　☎ 03（3570）5138

■ 故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。
http://marantz.jp/jp/html/service.html

■ 修理品お持ち込み窓口
・首都圏サービスセンター
〒 252-0816　神奈川県藤沢市遠藤 2010-16
FAX：0466（86）9533
・関西サービスセンター
〒 573-0094　大阪府枚方市南中振 3-2-7　三井倉庫ロジスティクス C 棟 3F
FAX：072（802）3226

＊ ディーアンドエムホールディングス本社では製品の修理を受け付けておりません。

marantz®

株式会社 ディーアンドエムホールディングス
〒 210-8569
神奈川県川崎市川崎区日進町 2 番地 1　D&M ビル

Printed in China　5411 11251 00AM